第6章 まとめ

第1節 三林遺跡の集落について

三林遺跡では集落関連の遺構として、竪穴住居跡47軒、掘立柱建物跡 5 棟、貯蔵穴11基などがみつかり、弥生時代後期前葉から古墳時代後期初頭にかけて集落が営まれていたことが判明した。本節では、土器編年の流れに沿って集落の変遷をたどり、集落構造について検討を加える。

(1) 集落の変遷

時期区分については、弥生時代を後期前葉、中葉、後葉、終末期の4つに、古墳時代を前期初頭、前葉、 中葉、後葉、中期前葉、中葉、中期後葉~の7つに分けている。

1. 弥生時代後期前葉(V-1様式)

東区の北西側の緩斜面で集落が形成され始める。SI16を中心に SI27、SI46が約20mの間隔で並んでいたと推定する。SI16の位置にはその後、大型住居の SI13(床面積38.5㎡)が建つ。南区では遺構が検出されなかったが、谷部の包含層中から当該期の土器が出土することから、調査区域のさらに南側に遺構が存在する可能性がある。

2. 弥生時代後期中葉 (V-2様式)

東区では前段階と同じ場所で集落が営まれる。大型住居 SI 6 が建ち、SI13の跡地に小型住居 SI 19、その北側20mに SI 2 (旧)が並ぶ。その後 SI19の跡地に建つ大型住居 SI 5 を中心として、北の SI 2 (旧)は拡張して中型の SI 2 (新)になり、南西側に中型住居 SI 8、南東側に小型の SI 15が配される。南区では小型の SI34が建つ。その南西側4mに位置する SI36は後期後葉の貯蔵穴 SK 5、10に先行するので、当該期の建物の可能性がある。

3. 弥生時代後期後葉(V-3様式)

東区では SI 5 を引き継いで大型の SI 4 が建てられるが、近辺の住居は南西側の SI17のみである。一方南区では SI34の跡地の両側に SI31、SI35が建つ。どちらもその場で建て直しが行われているが、床面積の規模が縮小している。居住域はさらに東西に広がり、SI31の20m西側に SI25、東区の南端に SI45が建つ。この時期の貯蔵穴を南区で 8 基、東区で1基検出している。南区では SK 6、7、10、5の4 基が 2~3 mの間隔で、等高線沿いに並んでいる。

4. 弥生時代終末期(VI-1様式)

東区北西部から大型住居が消える。後続のSI3は小型の住居で、近辺に同時期の遺構はない。南区寄りに布掘りの大型掘立柱建物SB4が建つ。南区では竪穴住居跡は検出されず、貯蔵穴SK14の1基のみである。

5. 古墳時代前期初頭(天神川 I 期)

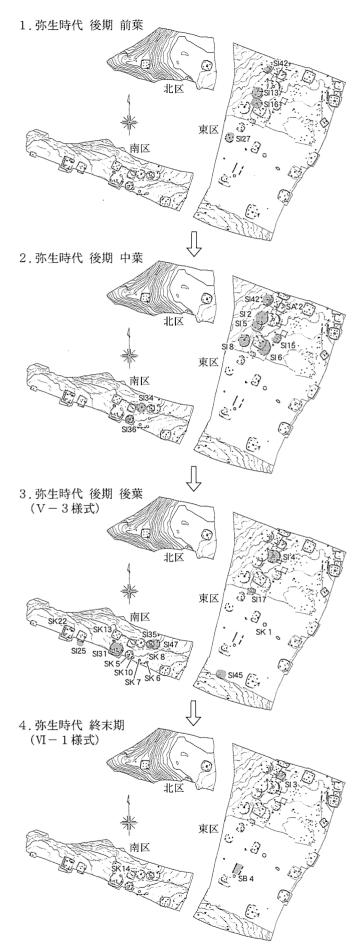
北区に初めて居住域が形成される。東区では丘陵の北側で前段階の居住域が継続しているが、南東側に新たな居住域が形成される。南区は居住域がない。

6. 古墳時代前期前葉(天神川Ⅱ期)

東区の居住域が北東側と南西側に拡がる。南区はこの段階で SI33が建つ。

7. 古墳時代前期中葉(天神川Ⅲ期)

東区では南東部が居住域から外されて、北西側に移動している。南区では SI33に後続する SI32の



第121図 三林遺跡集落変遷図(弥生時代)

1軒のみである。北区ではこの時期の建物跡が見つからない。

8. 古墳時代前期後葉(天神川IV期)

東区と南区の居住域が消滅する。北区の西側斜面中腹に SI23が建てられるが、当該期の遺構は全調査区域内でもこの住居 1 軒のみである。

9. 古墳時代中期前葉(天神川V期) 当該期の遺構は見つからなかった。

10. 古墳時代中期中葉(天神川Ⅵ~Ⅷ期)

東区の北東部に居住域が出現する。竪穴住 居跡 SI20、21、22が斜面落ち際に南北に並 ぶ。南区では西端で SI38が1軒検出された。 北区は中期以降、居住域から外れる。

11. 古墳時代中期後葉~(天神川垭期~)

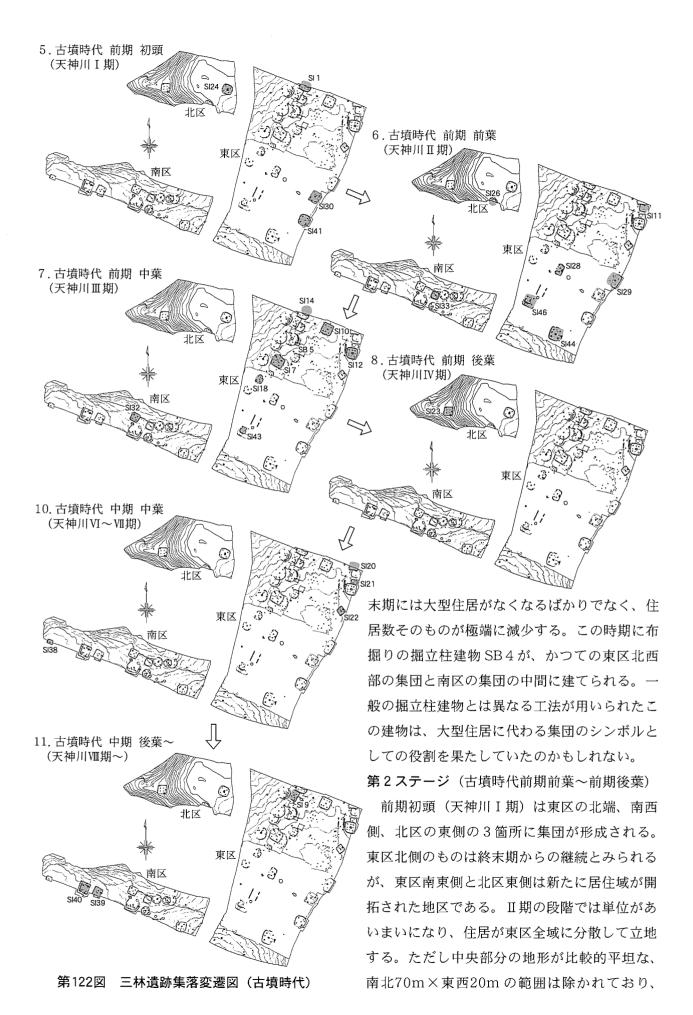
□期に入ると東区北東部の居住域が北西側に移り、SI9が建てられる。東区の建物はこの1軒が最後になる。南区では西側の居住域が継続してSI39、SI40(旧)、(新)の順に建てられて、IX~X期、古墳時代後期初頭ごろに集落が終わる。

(2) 集落構造

これまで集落の変遷を土器編年ごとに見てきたが、遺構数の増減から3つのステージに区分することができる。以降はそれぞれのステージごとに集落の構造を分析する。

第1ステージ(弥生時代後期前葉~終末期)

東区の北西側で、3軒の小型住居を1単位 として集落が始まる。中葉には南区にも単 位集団が集落を形成する。東区北西部の単位 集団は大型住居を中心に2~3軒の小型・中 型住居を配する構造へと変化する。前葉から 後葉にかけて、大型住居が東区北西部で場所 を代えながら存在し続ける一方で、南区に大 型住居が建てられなかったのは、東区北西側 がムラの開祖、ムラの代表者が住む場所であ り、ムラの中心、象徴としての性格を大型住 居が示していたためではないかと考える。終



その範囲を囲むように住居が配置されている点が注目される。南側は天地返しによる撹乱のために不明であるが、北側の範囲では掘立柱建物跡 SB 5 と、時期不明の SB 1、3、5、そのほかに数多くのピットを検出している。おそらく竪穴住居が建てられていない範囲には、掘立柱建物の倉庫が建ち並んでいたと推定され、共同体共有の土地として扱われていたと考える。

前期中葉には北区が居住域からはずれ、東区の住居配置が北へ偏り、床面積の規模は前段階より も若干縮小傾向にある。そして後葉段階では北区西側斜面の SI23を除き、遺構がまったく検出され ず、中期中葉までの間に集落の空白期間が生じている。忽然と集落が消えたかのように見えるが、そ の予兆は前期中葉の住居跡 SI7と SI12に見出せる。これらの住居跡は廃絶後に廃棄土坑として使用 されており、全調査区域内を見渡しても竪穴住居の中に土器が多量に廃棄されているのは前期中葉 の時期のこの2軒だけである。居住域の中心が北側へ移動したためにかつての居住域が集落の縁辺部 となり、廃棄場になったと推定される。南区のSI32では多量ではないにせよ、破損した土器が床面 付近の埋土中から出土していることから、居住域の移動に伴って不用品の投棄が行われたと推測され る。床面積の縮小化=建物の小型化も、工法とデザインの変化だけではなく、集落人口の減少が原因 となっている可能性も考えられる。SI23が立地するのは急斜面の途中の踊り場のような狭い地形で、 東区、南区の集落の検出面よりも6mも低い標高にあり、通常の住居とは考えにくい。集落の立地す る丘陵は南北に長く、東西両側が急斜面となっているため、北区と南区の間の谷筋が集落の出入り口 であったことは容易に推定される。実際、谷を登りきった地点から集落の形成が始まっている。谷を 囲む範囲に住居がある間は常に出入り口を監視することができたが、仮に前期後葉の集落が東区のさ らに北側へ移動していたとすれば、谷筋は死角となってしまう。そのために入り口の近くに監視小屋 が作られた可能性も考えられる。

第3ステージ(古墳時代中期中葉~後期初頭)

第2ステージで共同体の共有地と想定した東区中央部分の平坦地は、この段階においても共有地としての概念が残されていたようで、中期中葉に東向きの斜面際に立地し、後葉には平坦地を避けて北西向きの緩斜面側に移動している。南区ではそれまで手付かずであった西側の範囲が居住域として開拓されている。斜面際に住居が立地するのは東区と同様で、おそらく南側に広がる平坦地が集落の共有地として使用されたのではないかと考える。

北区東側の撹乱土中と、東区南端の撹乱土中から須恵器片が出土している。北区の場合は東区から の流れ込みの可能性が考えられるが、少なくとも東区の北側に集落域が広がることは確実である。ま た、調査区域の南側に南区で検出した集落の本体が存在するものと予測される。

(3)他集落との関係

谷を挟んで200m 西方の丘陵上に立地する笠見第3遺跡では平成14年度から15年度にかけて調査が行われた。170軒の竪穴住居跡、25棟の掘立柱建物跡が検出されており、東伯町内では最大の集落遺跡である。IV-3様式、弥生時代中期後葉に始まり、古墳時代後期に終焉を迎える^{誰1)}。一方、谷を挟んで150m東方の井図地中ソネ遺跡では平成14年度に調査が行われ、弥生時代後期後葉の集落跡と古墳時代前期初頭の墓域、古墳時代中期後葉から後期初頭にかけての集落跡が見つかっている。井図地中ソネ遺跡の東方100mに位置する井図地頭遺跡では古墳時代前期中葉~後葉と、7世紀代の集落が見つかった^{誰2)}。このことより笠見第3遺跡から三林遺跡、井図地中ソネ遺跡、井図地頭遺跡へと、西から東へ居住域が拡大しているのがわかる。笠見第3遺跡が東伯町内の丘陵上遺跡群の中枢

かどうかは定かでないが、存続期間の長さと建物の数から見れば母村と言えるだろう。三林遺跡集落の第1ステージが笠見第3遺跡を見上げる東区北西部にはじまり、丘陵の西側に偏った居住域を延々と形成し続けたのは、笠見第3遺跡の集落とのつながりが非常に強かったことを物語る。井図地中ソネ遺跡では弥生時代後期後葉の竪穴住居跡が13軒見つかっており、これは同時期の三林遺跡の倍以上の数である。住居は古墳時代前期の三林遺跡のように、中央の空閑地を取り囲んで配置されている。同時期の三林遺跡の丘陵の東半分が空き地として残されているにもかかわらず、隣の丘陵上に集落が開かれたのは、集落を開いた集団が三林遺跡の集落を母体としないためではないのだろうか。井図地中ソネ遺跡の出土遺物に外来系の要素は認められないので、笠見第3遺跡かあるいは平野部に存在した集落の分村と考えられる。井図地中ソネ遺跡はその後集落が途絶え、古墳時代前期初頭(天神川 I期)には土壙墓が集まった墓域が形成される。その時期に三林遺跡では東側に居住域が広がり、やがて集落の最盛期を迎える。東方の天神川流域における拠点集落・長瀬高浜遺跡の出現が示すように、弥生時代終末から古墳時代初頭にかけては各地で集落の統廃合がなされた時期である。三林集落の盛行と井図地中ソネ集落の断絶は、両集落が統合された結果、三林遺跡が居住域、井図地中ソネ遺跡が墓域へと機能分化したことを示すのではないだろうか。

北区 SI24では床面に中央ピットと炉が併設されているが、管見の限りでは全時代を通しても県内に類例が認められない施設である。県外では岡山市の津寺遺跡で弥生時代後期前葉の竪穴住居跡 SI202、203、204と古墳時代前期前葉の SI228、236、252に類例が認められる^{註3)}。とくに SI204 は時代が異なるにも関わらず、すべてのピットの配置、炉の形状、炉外の焼土面の位置、遺構の方位まで三林遺跡 SI24と酷似している。円形の中央ピットと方形の炉が隣接する平面形態は、弥生時代中期後半の初めから後期末までの期間に、西播磨地方を中心に分布する10型中央土坑に類似しており^{註4)}、津寺遺跡のそれは西播磨地域の影響を受けて、さらに発展させたものと考えられる。津寺遺跡は古墳時代前期の山陰系土器の出土量が吉備南部の遺跡の中でも突出していることから^{註5)}、山陰地方とのつながりが強い集落であることが窺える。三林遺跡 SI24から出土した土器129は「く」の字状の口縁部と外面ハケメ調整に畿内の布留式祖形独の影響が見られるが、張りのない体部の形状は同時期の吉備地域の甕に類似している。集落の相互交流によって吉備地方の土器と住居の形態が三林遺跡に持ち込まれた可能性が考えられる。

- 註1) 牧本哲雄ほか 2004 『笠見第3遺跡』(財)鳥取県教育文化財団
- 註2) 君嶋俊行ほか 2003 『井図地頭遺跡 井図地中ソネ遺跡』(財)鳥取県教育文化財団
- 註3) 高畑知功ほか 1998 『津寺遺跡5』 岡山県文化財保護協会
- 註4) 山下史朗ほか 1999 『清水遺跡』兵庫県教育委員会
- 註5) 亀山行雄 2003 「吉備地域の古式土師器」『古墳出現期の土師器と実年代シンポジウム資料集』 (財)大阪府文化財センター

第2節 井図地頭遺跡の評価

井図地頭遺跡は、平成14・15年度の二次にわたって調査を行い、縄文時代から平安時代、近世にかけての多くの遺構、遺物を確認した。各時代の特徴的な遺構、遺物をまとめると以下のとおりである。 縄文時代:墓壙の可能性がある土坑2基(うち1基は中期船元式期)、落とし穴状土坑多数の他に、前期羽状縄文土器片、中期船元式土器片などが出土した。

弥生時代:前期の土器片の他に、溝から前期~中期と考えられる打製石鍬が出土した。

古墳時代:前期中葉~後葉の竪穴住居跡1軒、土坑1基を検出した。

7~8世紀代:竪穴住居跡3軒、溝3条、土坑12基の他に、包含層・撹乱土中から多量の須恵器、土師器が出土した。SD4に沿って一定間隔で並ぶ土坑(SK29など)は、それぞれが新旧の重複関係を持ち、土層には柱痕ないし柱抜き取り痕跡、埋め戻しを示唆する水平堆積が認められる。SD4は区画溝的な性格が考えられ、これら土坑群もSD4と何らかの機能的関係を持つ可能性がある。SD4より北側(低所側)に位置する小規模な円形土坑SK33、36からはほぼ完形の土器が出土した。また、SI1の近くに位置する方形土坑SK3からは鞴羽口が出土した。このように、当該期の土坑にはいくつかの異なる性格が想定される。

平安時代:幅約2mの溝による「コ」字状の方形区画(南北約50m、東西約30m)を検出した。 近世:溝から17世紀代と考えられる唐津焼碗が出土した。

本遺跡の消長を近隣の遺跡と比較する上で問題となるのは、第一に7世紀代における集落の盛行、 第二に弥生時代後期における空白期の存在である。

本遺跡において集落が最も盛行したのは6世紀末~8世紀前半(高広 I B期~Ⅲ B期)である。同時期の近隣の集落としては、同じ尾根上に立地する三保遺跡の他に、本遺跡の約3km西方の丘陵上に位置する八橋第8・9遺跡^{誰6)}があげられる。この遺跡では古墳時代後期以降、7世紀代を通じて竪穴住居を中心とする集落が営まれており、8世紀代には大形の掘立柱建物群が成立するなど、集落の継続性、規模、掘立柱建物の存在という集落構成の点において本遺跡との相違が認められる。当該期における集落の動態を考えるうえで、本遺跡との比較検討を進める必要があろう。

一方で、本遺跡では弥生時代後期の遺構・遺物は皆無に近い。付近の丘陵上において当該期の拠点集落と目されるのは、本遺跡の西方約800mに位置する笠見第3遺跡である。集落の形成開始は中期後半であり、後期になると規模が拡大するとともに、小谷を挟んで東西方向に隣接する尾根上にも集落が展開していく。こうした動態の中で、三林遺跡や本遺跡に西隣する井図地中ソネ遺跡でも後期段階に集落が成立するが、本遺跡にはこのような動きは及ばなかったようだ。このことには、居住域の展開に充分な平坦地や、耕地に適した小谷に恵まれていないことなど地形上の制約が大きく関係していよう。また、弥生後期~古墳時代前期前半に盛行したこれらの各集落は古墳時代前期後半に一度断絶し、代わってその近辺に蝮谷遺跡^{胜7)}や八橋第2~第4遺跡²¹⁸⁾など小規模な集落が成立するようである。本遺跡で1軒のみ検出された当該期の住居跡も、あるいは同様の背景を持つものかもしれない。

以上のように、本遺跡における集落の消長は周辺遺跡のそれと密接に関係しており、丘陵上の遺跡群全体の動態に位置づけて理解すべきであろう。ただし、本遺跡の立地には丘陵と平野部との接点という一面もあり、例えば館跡の可能性がある方形区画は、眺望のきくこのような立地を積極的に志向していることが明らかである。したがって、丘陵上のみならず平野部の遺跡の動向にも目を向けなければならないのは当然であるが、本遺跡の眼下に広がる洗川流域の低地部では、現在までに発掘調査は殆ど行われていない。今後の課題とし、資料の蓄積を待って再考することにしたい。 (君嶋)

- 註6) 小口英一郎ほか 2004 『八橋第8・9遺跡』(財)鳥取県教育文化財団
- 註7) 小山浩和ほか 2004 『久蔵峰北遺跡 蝮谷遺跡 岩本遺跡』(財)鳥取県教育文化財団
- 註8) 大賀靖浩ほか 2001 『八橋第2遺跡~八橋第4遺跡発掘調査報告書』東伯町教育委員会

三林遺跡出土遺物観察表

第11表 三林遺跡出土土器観察表(1)

| | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | , | | ., | ., | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|------------------|-----------------|------------|------------------------------|-------------------|--|--------------------------|---------------------------------|----------------------|--------|
| No. | 地区 | 遺構 層位 | 挿図 PL | 種別 器種 | 法量〔cm〕 | 残存率 | 調整 | 色調 | 胎土 | 備考 | 実測者No. |
| 1 | 東区 | SI 1 2層 | 第8図 PL.30-1 | 上師器 養 | 口径:※13.8 器高:△3.8 | 口縁部1/10 | 外面:ナデ 内面:ナデ | 灰褐色 浅黄色 | やや密、1mmの砂粒 を含む | | 福田6 |
| 2 | 東区 | SI 1 1層 | 第8図 PL.30-1 | 土師器 喪 | 口径:※18.8 器高:△4.9 | 口縁部1/10 | 外面:ナデ 内面:ナデ | にぶい橙色 浅橙色 | 審 | | 福田5 |
| 3 | 東区 | SI14 埋土 | 第8図 PL.32 | 上師器 | 口径:※14.6 器高:△4.2 | 口級部1/8 | 内外面:ヨコナデ | にぶい黄橙色 | 径 2 m以下の砂粒、 金雲母を多く含む | 外面黑斑 | 福田35 |
| 4 | 東区 | SI 2 2層上面 | 第10図 PL.30-1 | 弥生土器 壺 | 口径:※17.7 器高:△4.2 | 口級部1/7 | 外面:口縁部に6条の凹線、頸部ナデ内面:口縁~頸部ナデ | 浅黄色 | 密 | | 福田8 |
| 5 | 東区 | SI 2 2層 | 第10図 PL,30-1 | 弥生土器 寶 | 口径:※14.4 器高:△3.0 | 口縁部1/11 | 外面:口縁部に4条の沈線、頸部ナデ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケ | にぶい黄橙色~褐灰色 にぶい黄橙色~灰褐色 | 密、1~2mm の 長 石 を含む | 外面煤付着 | 福田7 |
| 6 | 東区 | SI 2 1 層 | 第10図 | 弥生土器 壺 | 器高: △7.3 底径: 7.4 | 底部4/5 | ズリ 外面:ハケメ、ミガキ 内面:ケズリ、ナデ? | 赤褐色 | 径 3 m以下の砂礫を 含む やや組 | 外面赤彩 | 芝田 6 |
| 7 | 東区 | SI 3 2層 | 第11図 PL.30-1 | 弥生土器 費 | 口径:※20.5 器高:△5.8 | 口綠部1/4 | 外面: 口縁部に多条平行沈線文 →ナデ、頭部ナデ 内面: 口縁~顕部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい黄橙色 | やや密、1~2mmの 砂粒を多く含む | 外面煤付着 | 福田9 |
| 8 | 東区 | SI3 中央ビット底面 | | 弥生土器 翌 | 口径:※15.3 器高:△4.3 | 口縁部1/5 | 外面:口縁部に多条平行沈線文 →ナデ、顕部ナデ 内面:口縁~顕部ナデ | にぶい橙色 橙色 | 密、1~2mm の砂粒 を含む | | 福田10 |
| 9 | 東区 | SI 3 埋土 | 第11図 PL.30-1 | 弥生土器 饗 | 口径:※18 器高:△2.7 | 口縁部1/10 | 内外面:ナデ | 灰褐色 | 密、0.5~1mmの長石 を含む | 外面煤付着 | 福田11 |
| 10 | 東区 | SI 4 P21埋土 | 第13図 PL.32 | 弥生土器 要 | 口径:※14.6 器高:△3.1 | 口縁部1/10 | 外面:口縁部沈線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 橙色 にぶい黄褐色 | 径1.5mm以下の砂粒 を多く含む 密 | | 福田22 |
| 11 | 東区 | SI 4 埋土 | 第13図 PL.32 | 弥生土器 喪 | 口径:※16.2 器高:△3.9 | 口綠部1/6 | 外面:口縁部沈線、肩部ハケメ →ナデ 内面:口縁部ナデ、頸部ハケメ、 肩部ケズリ | 浅黄色 | 径1m以下の砂粒を 含む 密 | 口緣部外面煤付着 | 福田23 |
| 12 | 東区 | SI 4 搅乱 | 第13図 PL.32 | 弥生土器 養 | 口径:※14.6 器高:△4.8 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部縦ハケメ、頸部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ →ナデ | にぶい赤褐色 | 径 2 mm以下の石英、 砂粒を多く含む 密 | 頸部に焼成前穿孔 2孔 内外面赤彩 | 福田24 |
| 13 | 東区 | SI 5·13·19 埋土 | 第15図 PL.32 | 弥生土器 簑 | 口径:※16.3 器高:△5.4 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部沈線→一部ナデ消 し、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、頚部ハケメ、 肩部ケズリ | 橙色 | 径3m以下の砂粒を 含む 密 | 頸部外面に刺突文 | 福田27 |
| 14 | 東区 | SI 5 床面 | 第15図 PL.32 | 弥生土器 饗 | 口径:※14.0 器高:△3.7 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部凹線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 浅黄橙色 | 径1mm以下の砂粒を 含む 密 | 口頸部外面煤付着 | 福田25 |
| 15 | 東区 | SI 5·13·19 埋土 | 第15図 PL.32 | 弥生土器 褒 | 口径:※16.2 器高:△4.3 | 口縁部1/3 | 外面:口縁部凹線、肩部ナデズリ 内面:口縁部ナデ、頸部ミガキ、 肩部ケズリ | 黄灰色 灰黄色 | 径1mm以下の砂粒を 含む | 外面煤付着 | 福田26 |
| 16 | 東区 | SI19 埋土 | 第15図 PL.32 | 弥生土器 喪 | 口径:※15.2 器高:△3.1 | 口縁部1/8 | 外面:口縁部沈線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径2mm以下の砂粒を 多く含む 密 | 口縁部外面煤付着 | 福田40 |
| 17 | 東区 | SI13 1 📓 | 第15図 PL.32 | 弥生土器 底部 | 器高: △2.8 底径:※6.4 | 底部1/4 | 外面:ミガキ 内面:ケズリ、ハケメ 底外面:ミガキ | 灰黄褐色 灰黄色 | 径2m以下の砂粒を 多く含む 密 | | 福田34 |
| 18 | 東区 | SI 6 1 層 | 第18図 PL.32 | 弥生土器 镀 | 口径:※17.2 器高:△3.7 | 口縁部1/6 | 外面:口縁部沈線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい赤褐色 にぶい褐色 | 径2m以下の砂粒を 多く含む | 外面煤付着 | 福田29 |
| 19 | 東区 | SI 6 1 層 | 第18図 PL.32 | 弥生土器 饗 | 口径:※14.8 器高:△4.0 | 口縁部1/3 | 外面:口縁部凹線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 浅黄色 | 径1m以下の砂粒を 含む 密 | 外面煤付着 | 福田28 |
| 20 | 東区 | SI6 P10埋土 | 第18図 PL,32 | 弥生土器 饗 | 口径:※15.8 器高:△3.1 | 口縁部1/10 | 外面:口縁部凹線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径1 m以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | 口縁部外面赤彩 | 福田30 |
| 21 | 東区 | SI 6 1 層 | 第18図 PL.32 | 弥生土器 高坏 | 口径:※19.3 器高:△6.6 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部リア、肩部ノベッ 外面:口縁部凹線、坏部ナデ 内面:口縁部ナデ、坏部ケズリ →ナデ | にぶい黄橙色 | 並製品を出る 出 径 3 m以下の砂粒を 含む 密 | 口綠部外面赤彩 | 福田31 |
| 22 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.31 | 土師器 壺 | 口径:※12.0 器高:15.3 | 口縁部1/2 胴部2/3 | 外面: 口縁部ナデ、胴部斜めハケメ ウメ 内面: 口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ | 橙色 | 径2㎜以下の砂礫を やや多く含む 密 | 底外面煤付着 | 福田51 |
| 23 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.30-2 | 土師器 | 口径:※23.8 器高:△4.7 | 口縁部1/8 | 内外面:ナデ | 浅黄橙色 | 径1 m以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | 口縁部外面に竹管文 | 伊藤12 |
| 24 | 東区 | SI 7 | 第19図 PL.30-2 | 土師器 | 口径:※17.2 器高:△7.9 | 口縁部1/5 頸部1/3 | 外面:口縁部ヨコナデ、頸部緩 ハケメ→ナデ、肩部横ハケメ 内面:口頸部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | 浅黄色 | 登1.5mm以下の砂粒 を含む 密 | | 山本<42 |
| 25 | 東区 | SI 7 2 層 | 第19図 PL.30-2 | 上師器 饗 | 口径:※12,4 器高:△5.6 | 口綠部1/4 | 外面: 口縁部ヨコナデ、肩部ナ デ、横ハケメ 内面: 口縁部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | 浅黄橙色 | 径1㎜以下の砂粒を 含む | | 伊藤11 |
| 26 | 東区 | SI 7 2 層 | 第19図 PL.30-2 | 土師器 饗 | 口径:※30.8 器高:△10.9 | 口頸部1/4 | 外面:口縁部ヨコナデ、肩部縦 ハケメ→ナデ 内面:口縁部ヨコナデ、頸部横 ハケメ→ナデ、肩部ケズリ | 浅黄橙色 橙色 | 径 2 m以下の砂粒、 雲母、角閃石を含む やや密 | | 伊藤16 |
| 27 | 東区 | SI 7 2層 | 第19図 PL.30-2 | 土師器 変 | 口径:※12.8 器高:△8.1 | 口級部1/8 | 外面:口縁部ヨコナデ、肩部横 ハケメ→ナデ 内面:口縁部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | にぶい赤褐色 | 径 1 m以下の砂粒、 雲母を含む 密 | | 伊藤14 |
| 28 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.31 | 土師器 壺 | 器高:△20.2 | 頸部1/10以下 胴部1/3 | 外面:頸部ヨコナデ、胴部縫ハ ケメ→横ハケメ 内面:頸部以下ケズリ、所々指 頭圧痕あり | 明黄褐色 | 径 2 m以下の砂粒を やや多く含む 密 | 頭部外面に刺突文 | 山本<43 |
| 29 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.31 | 土師器 杭 | 口径:11.4 器高:5.8 底径:3.8 | 口縁部3/4 底部完存 | 外面:縦ハケメ、指頭圧痕 内面:横ハケメ 底外面ナデ | 橙色 | 径 1 mm以下の砂粒、 角閃石を含む 密 | 外面赤彩、黒斑 | 福田46 |
| 30 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.31 | 土師器 椀 | 口径:12.4 器高:6.4 底径:3.0 | ほぼ完形 | 外面:縦ハケメ 内面:横ハケメ 内外面指頭圧 痕 底外面ナデ | 橙色 | 径 1 m以下の砂粒、 金雲母、角閃石を含 む 密 | | 福田48 |
| 31 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 | 上師器 梳 | 口径:※11.0 器高:5.6 底径:4.4 | 口縁部3/4 底部完存 | 外面:縦ハケメ 内面:横ハケメ、指頭圧痕 底外面ナデ | 橙色 浅黄橙色 | 径 2 mm以下の砂粒を 含む 密 | 外面黑斑 | 福田47 |
| | | | | | | | | | | | |

第12表 三林遺跡出土土器観察表(2)

| | | 遺構 | 挿図 | 種別 | | 20-1M | 407 dV- | ee and | 76.1 | 1111-14 | electrol de vi |
|-------|----|--------------------|-----------------------|-----------------|---------------------------------|--------------------------|---|-----------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------|
| No. 1 | 地区 | 層位 | PL | 器種 | 法量〔cm〕 口径:11.4 | 残存率 | 調整 | 色調 | 胎土 | 備考 | 実測者No. |
| 32 | 東区 | SI 7 3層 SI 7 | 第19図 PL.31 第19図 | 土師器 椀 土師器 | 出任:11.4 器高:4.3 底径:5.0 | ほぼ完形 口縁部1/4 | 内外面ナデ、底内面指頭圧痕 外面:縦ハケメ→ミガキ、 | 橙色 | 金雲母、角閃石を含む 密 径1mm以下の砂粒を | 底外面に剥離痕? | 福田45 |
| 33 3 | 東区 | 床面 | PL.31 第19図 | 高坏土師器 | 出催:※17.2 器高:△6.1 口径:※12.1 | 坏底部完存 | 内面:横ハケメ→ミガキ | 橙色 | 会む 径1m以下の砂粒、 | 外面黑斑 | 福田50 |
| 34 3 | 東区 | SI 7 2 層 | #198 PL.30-2 | 高坏 | 器高:△5.6 | 口級部1/8 | 内外面:ハケメ→ミガキ | にぶい黄橙色 | 金雲母を含む密 | 外面黑斑 | 伊藤15 |
| 35 3 | 東区 | SI 7 床面 | 第19図 PL.31 | 土師器 鼓形器台 | 口径:12.2 器高:7.0 底径:10.9 | 口緑部3/4 | 外面:ヨコナデ 内面:受け部ミガキ、脚部ケズリ | にぶい橙色 | 径1㎜以下の砂粒を まばらに含む 密 | 脚部に透孔4孔 | 福田49 |
| 36 | 東区 | SI 7 2 層 | 第19図 | 上師器 器台脚部 | 器高:△3.0 底径:※20.6 | 脚裾部1/10 | 外面:横ハケメ→ミガキ 内面:ケズリ | 浅黄橙色 灰白色 | 径1m以下の砂粒を 僅かに含む 密 | | 井上14 |
| 37 | 東区 | SI 7 2 層 | 第19図 PL.30-2 | 土師器 低脚坏 | 器高:△2.6 脚径:4.2 | 脚部完存 | 外面:ナデ 内面:坏部ミガキ、脚部ナデ | 橙色 にぶい黄橙色 | 径2m以下の砂粒、 雲母を多く含む | 脚部に焼成前穿孔 1孔 | 伊藤13 |
| 38 | 東区 | SI 8 1 層 | 第22図 PL.30-1 | 弥生土器 寰 | 口径:※11.6 器高:△8.1 | 口縁部1/3 | 外面: 口縁部ナデ、頸〜肩部ミ ガキ→頸部ナデ、体部ハケメ 内面: 口縁〜頸部ミガキ、以下 ケズリ | 灰黄褐色 | 密、1mmの長石を含む | 外面煤付着 | 福田12 |
| 39) | 東区 | SI 8 1 層 | 第22図 PL.30-1 | 弥生土器 喪 | 口径:※14.5 器高:△5.1 | 口縁部1/7 | 外面:口縁部に横線、頸部ナデ、 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 灰褐色 灰色~暗灰色 | 密、1mmの長石を含む | 肩部に刺突列点 文、外面煤付着 | 福田14 |
| 40 3 | 東区 | SI 8 2 層 | 第22図 PL.30-1 | 弥生土器 囊 | 口径:※16.7 器高:△5.3 | 口縁部1/7 | 外面:口縁部に横描沈線文→ナ デ、頸部ナデ 内面:口縁〜頚部ミガキ→屈曲 部部ナデ、体部ケズリ | にぶい橙色 | 密、1~2mm の 礫 粒 を含む | 頸部外面に赤彩、 煤付着 | 福田13 |
| 41 3 | 東区 | SI 9 P 6 埋土 | 第23図 PL.32 | 土師器 椀 | 口径※10.8 器高: △4.5 | 口縁部1/4 | 内外面:ナデ? | 橙色 | 径3㎜以下の砂粒を 含む やや密 | 摩滅著しい | 福田32 |
| 42 3 | 東区 | SI9 P6埋土 | 第23図 PL.32 | 須恵器 | 口径:※9.2 器高:△1.7 | 口縁部1/4 | 内外面:回転ヨコナデ | 濃い灰色 灰色 | 径2mm以下の砂粒を 含む 密 | 内面自然釉 | 福田33 |
| 43 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 土師器 | 口径: 21.6 器高: 33.3 | 口操部はぼ完存 胴部1/2 底部完存 | 外面: 口縁部ヨコナデ→ミガキ、 頸部〜屑部ヨコナデ、胴部ハケメ 内面: 口縁部ミガキ、胴部ケズ リ→ナデ、底部指頭圧痕 | にぶい黄橙色 | 径 1 mm以下の砂粒、 金雲母を僅かに含む 密 | 頸部に貼付突帯 | 清水25 |
| 44 3 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 土師器 喪 | 口径:※16.4 器高:∆14.6 | 口縁部3/4 | 外面:口縁〜頸部ナデ、肩部以 下ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 淡黄色 | 密 | 外面に黒斑 | 山本<11 |
| 45 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 土師器 喪 | 口径:※21.8 器高:△11.7 | 口綠部1/3 | 外面:口縁~肩部ナデ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケ ズリ→ナデ | 浅黄色 | 密、1~3mm の 石 英 を含む | | 山本ひ19 |
| 46 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 土師器 小型饗 | 口径:※11.4 器高:※15.2 | 口縁部~底 部1/4 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部ハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ、指頭圧痕 | 灰白色 | 径1m以下の砂粒を 含む 密 | | 綾木3 |
| 47 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 土師器 小型饗 | 口径:※13.3 器高:14.6 | 口縁部1/2 | 外面: 口縁〜頸部ナデ、肩部ハ ケメ、以下ナデ 内面: 口縁部ナデ、頸部以下ケ ズリ、底部ナデ | 明黄褐色 | 密 | 外面と、内面下半 分に煤付着 | 山本く10 |
| 48 3 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 土師器 饗 | 口径:※14.2 器高:△7.4 | 口級部1/6 | 外而:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい橙色 | 密、0.5~1mmの砂粒 を含む | | 山本ひ17 |
| 49 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 上師器 小型丸底壺 | 口径:※10.4 器高:10.7 | 口縁部1/8 体部完存 | 外面:口縁部ナデ、頸部以下ハケメ 内面:口縁~肩部横ナデ、体部中 位指頭圧痕、体部下半分ケズリ | にぶい黄檀色 | や や 粗、1~3㎜ の 長石を含む | 底部外面に黒斑 | 山本く6 |
| 50 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 上師器 高坏 | 口径:20.8 器高:△7.1 | 坏部完存 脚部欠損 | 外面:体部ナデ、底部ハケメ→ ミガキ 内面:ナデ→ミガキ | 橙色~にぶい黄橙色 | 密 | 内外面煤付着、脚 部付け根の内面に 赤彩 | 山本く13 |
| 51 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 上師器 高坏 | 口径:11.6 器高:△5.9 | 口縁3/4 | 内外面:ナデ? | 明黄褐色 | 径1 m以下の砂粒、金 雲母を僅かに含む 密 | | 山本く8 |
| 52 | 東区 | SI10 床面付近 | 第27図 PL.35 | 土師器 小型丸底鉢 | 口径:10.0 器高:6.3 底径:4.0 | 口線1/2 層部以下完存 | 外面:口縁部〜胴部ヨコナデ、 底部外周ケズリ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ナデ | 明黄褐色 | 微砂粒、金雲母を含 む 密 | 底部外面に木葉痕 内外面に煤付着 | 山本く12 |
| 53 3 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 土師器 低脚坏 | 器高:△4.0 底径:4.6 | 脚部3/4 | 外面:ミガキ、脚端部ナデ 内面:坏部ミガキ、脚部ナデ | 浅黄色 | 密 | | 山本ひ20 |
| 54 3 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.36 | 土師器 高坏脚部 | 器高:△4.3 底径:※17.9 | 脚端部3/4 | 外面:ミガキ 内面:不明 | 明黄褐色 | 密 | 4箇所に穿孔 内面に黒斑 | 山本く7 |
| 55 3 | 東区 | SI10 床面 | 第27図 PL.35 | 上師器 高坏 | 口径:※14.6 器高:11.3 底径:※21.4 | 口縁部1/2 脚部1/2 | 外面:ハケメ→ミガキ 内面:坏部ミガキ、脚部不明 | 橙色~にぶい黄橙色 | 密 | | 山本く9 |
| 56 3 | 東区 | S111 上層 | 第29図 PL.33-1 | 土師器 | 口径:※14.8 器高:△4.8 | 口縁部1/4 | 外面:口縁~頸部ナデ 内面:不明 | にぶい橙色 | 密、1mmの砂粒を含む | | 山本ひ22 |
| 57 | 東区 | SI20 埋土 | 第29図 PL.33-1 | 土師器 | 口径:※15.8 器高:△4.6 | 口縁部1/10 | 外面:ナデ 内面:ナデ | 灰褐色 にぶい橙色~灰褐色 | 密、1~2mm の砂粒 を含む | 外面煤付着 | 福田15 |
| 58 3 | 東区 | 型工 SI20 埋土 | 第29図 PL.33-1 | 土師器 | 口径:※14.8 器高:△3.6 | 口縁部1/10 | 外面:ナデ 内面:ナデ | 黄灰色 にぶい黄橙色~黄灰色 | 密 | 外面煤付着 | 福田17 |
| 59 3 | 東区 | SI20 上層 | 第29図 PL.33-1 | 土師器 高坏 | 口径:※15.0 器高:△5.9 | 口縁部1/6 | 外面:ハケメ 内面:ミガキ | にぶい橙色 橙色 | 密 | 外面煤付着 坏底背面に穴2箇 所 | 福田18 |
| 60 3 | 東区 | SI12 下層 | 第31図 PL.34 | 土師器 壺 | 口径:18.2 器高:△17.4 | 口縁部4/5 頸部完存 | 外面:口縁部ナデ、胴部縦ハケメー横ハケメ 内面:口頭部ヨコナデ、胴部ケズリ | 浅黄橙色 | 径 1 m以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | 口緣外面黑斑 | 小山8 |
| 61 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-2 | 土師器 直口壺 | 口径:※8.8 器高:△8.5 | 口綠部2/3 | 外面:口縁部ミガキ、頸部ナデ 内面:ナデ | にぶい橙色 | 密、1~2mm の砂粒 を含む | | 山本ひ13 |
| 62 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 | 土師器 | 器高:△6.6 | 胴部1/3 | 外面: 肩部ナデ、体部ハケメ 内面: 頸部ナデ、以下ケズリ→ 胴張部に工具圧痕 | にぶい橙色 | 密、1~3mm の 石 英 を含む | | 山本ひ14 |
| 63 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-2 | 土師器 饗 | 口径:※14.6 器高:△4.4 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部ナデ、段部に2条 の沈線、頸部ナデ 内面:ナデ | にぶい黄橙色 | 密、0.5~2mmの石英 を含む | 外面煤付着 | 山本ひ9 |
| 64 | 東区 | SI12 床面 | 第31図 PL.33-2 | 上師器 養 | 口径:※13.8 器高:△5.5 | 口縁部1/5 | 外面:不明 内面:口縁〜顕部ナデ、以下ケ ズリ | 橙色~にぶい橙色 橙色~にぶい黄橙色 | や や 密、1~3mm の 石英を含む | | 山本ひ10 |
| 65 3 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-2 | 土師器 褒 | 口径:※12,0 器高:△3,3 | 口縁部1/2 | 外面:口縁部ナデ、頸部ハケメ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケズリ | 浅黄色 | 密、0.5~1㎜の砂粒 を含む | | 山本ひ11 |

第13表 三林遺跡出土土器観察表 (3)

| | | | | | | | 小这奶田工工品积 系 | | | | |
|-----|----|--------------------|------------------------|----------------|--------------------------------|------------------|---|------------------|---------------------------------------|---------------------------------|--------|
| No. | 地区 | 遺構 層位 | 挿図 PL | 種別 器種 | 法量 [cm] | 残存率 | 調整 | 色調 | 胎土 | 備考 | 実測者No. |
| 66 | 東区 | SI12 下層 | 第31図 PL.34 | 土師器 要 | 口径:19.1 器高:△12.7 | □縁部3/4 | 外面:口縁部ヨコナデ、肩部縦 ハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、肩部ケズリ | 浅黄橙色 | 径1.5mm以下の石英、 金雲母、砂粒をやや 多く含む 密 | 口縁部・肩部外面 黒斑 | 小山7 |
| 67 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-2 | 土師器 要 | 口径:※15.0 器高:△5.1 | 口縁部1/3 | 外面:ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 浅黄橙色 | 密、1~3mm 大 の 砂 粒を含む | | 山本ひ12 |
| 68 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-2 | 土師器 褒 | 口径:※15.2 器高:△5.1 | 口縁部1/7 | 外面:ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい黄橙色 | 密、1~2mm の 砂 粒 を含む | | 山本ひ8 |
| 69 | 東区 | SI12 下層 | 第31図 PL.33-2 | 上師器 費 | 口径:※14.0 器高:△7.7 | 口縁部1/5 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、肩部指 頭圧痕、体部ケズリ | 浅黄色 | 0.5~3mmの砂粒を 含む | | 山本ひ15 |
| 70 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.34 | 土師器 低脚坏 | 口径:※18.7 器高:6.0 底径:5.2 | 口縁部1/3 脚部完存 | 外面: 坏部ハケメ→ナデ、脚柱 部ミガキ 内面: 坏部ミガキ、脚部ナデ | 明黄褐色 浅黄橙色 | 径1 mm以下の砂粒、 石英、金雲母を含む 密 | 外面黑斑 | 小山 9 |
| 71 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.34 | 土師器 鼓形器台 | 口径:21.5 器高:11.5 底径:20.2 | 受部ほぼ完存 脚部1/3 | 外面:受け部ミガキ、脚部横ハ ケメ→ミガキ 内面:受け部ミガキ、脚部ケズリ | 明黄褐色 | 径 1 m以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | | 小山6 |
| 72 | 東区 | SI12 上層 | 第31図 PL.33-1 | 土師器 鼓形器台 | 器高: △7.2 底径:※15.6 | 脚部1/4 | 外面:ナデ 内面:不明 | 浅黄橙色 | 密 | | 山本ひ21 |
| 73 | 東区 | SI21 上層 | 第31図 PL.33-1 | 土師器 饗 | 口径:※15.0 器高:△3.9 | 口繰1/12 | 外面:ナデ 内面:ナデ | にぶい褐色 浅黄色 | 密、1~3mm の砂粒 を含む | 外面煤付着 | 山本ひ16 |
| 74 | 東区 | SI15 埋土 | 第34図 PL.32 | 弥生土器 饗 | 口径:※6.3 器高:△5.3 | 口縁部1/4 | 外面:ナデ、指頭圧痕 内面:口縁部ナデ、胴部ケズリ | にぶい黄橙色 濃い灰色 | 径1m以下の砂粒を 含む 密 | | 福田37 |
| 75 | 東区 | SI15 中央ピット埋土 | 第34図 PL.32 | 弥生土器 饗 | 口径:※13.6 器高:△2.6 | 口縁部1/8 | 外面:口縁部凹線、頸部ナデ 内面:ナデ | 褐灰色 にぶい黄橙色 | 径2m以下の砂粒を 含む 密 | 外面煤付着 | 福田36 |
| 76 | 東区 | SI16 SK1埋土 | 第35図 PL.43-1 | 弥生土器 寰 | 口径:13.2 器高:△9.3 | 口縁部完存 開部1/4 | 外面:口縁部凹線、胴部縦ハケ メ→ナデ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ケ ズリ | 橙色 | 径 1 ㎜以下の砂粒を やや多く含む 密 | 外面煤付着 | 福田52 |
| 77 | 東区 | SI18 | 第37図 | 土師器 | 口径:※13.2 | 口線部1/4 | 内外面:ヨコナデ | 浅黄橙色 | 径1㎜以下の砂粒を | | 福田39 |
| 78 | 東区 | 付近 SI18 付近 | PL.32 第37図 PL.32 | 養 土師器 器台 | 器商: △4.2 口径:11.7 器高:△2.3 | 口縁部1/2 | 外面:口縁部ョコナデ、坏部ハ ケメ→ミガキ 内面:口縁部横ハケメ→ナデ、 坏部ケズリ | にぶい黄橙色 | 多く含む 径 1 ㎜以下の石英、 黒雲母、砂粒を含む 密 | | 福田38 |
| 79 | 東区 | SI22 下層 | 第39図 PL.33-1 | 土師器 褒 | 口径:※11.2 器高:△9.2 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部ナデ、肩部以下ハケメ 内面:口縁部ナデ、肩部指頭圧 痕、体部ケズリ | 赤橙色~橙色 | 密 | | 福田19 |
| 80 | 東区 | SI22 床面 | 第39図 PL.33-1 | 土師器 褒 | 口径:※14.5 器高:△2.9 | 口縁部1/11 | 内外面:ナデ | 橙色~にぶい黄橙色 | 密、1mmの石英を含 む | | 福田21 |
| 81 | 東区 | SI22 床面 | 第39図 | 土師器 | 口径:13.3 器高:△5.5 | 口縁部完存 底部欠損 | 内外面: 不明 | 橙色 | 密 | | 福田20 |
| 82 | 東区 | SI22 P8底面 | 第39図 PL,43-2 | 土師器 高坏 | 口径:16.9 器高:12.0 底径:8.7 | 口縁部1/4 欠損 | 外面: 坏部ハケメ、脚筒部ミガキ、裾部ナデ 内面: 坏部不明、脚裾部ハケメ →指頭圧痕 | 橙色~にぶい黄 橙色橙色 | 密、1~2mm の 砂 粒 を含む | | 福田1 |
| 83 | 東区 | SI27 P2埋土 | 第41図 PL.38 | 弥生土器 褒 | 口径:※13.4 器高:△3.6 | 口縁部1/4 | 外面:口縁部3条の凹線、頸部 以下ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 明黄褐色 明黄褐色~黄灰色 | 密、1~3mm の 砂 粒 を含む | | 山本<20 |
| 84 | 東区 | SI27 埋土 | 第41図 PL.38 | 弥生土器 褒底部 | 器高:△2.0 底径:4.0 | 底部3/4 | 外面:体部ハケメ 内面:底面に指頭圧痕 | 黒褐色 明黄褐色 | や や 粗、1~2mm の 石英を多量に含む | 外面煤付着 | 山本く21 |
| 85 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 土師器 養 | 口径:※21.2 器高:△4.2 | 口縁部1/12 | 外面:口縁部ケズリ→ミガキ、 頸部ナデ 内面:口縁部ミガキ→ナデ、頸 部ケズリ | 黒褐色~橙色 | 密、1~2mm の 長 石 を含む | | 山本く27 |
| 86 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 土師器 褒 | 口径:※15.8 器高:△5.3 | 口縁部1/12 | 外面:ナデ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい黄橙色 | 密、1㎜の石英を含 む | 外面煤付着 | 山本<25 |
| 87 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 土師器 壺 | 口径:※10.0 器高:△8.2 | 口縁部1/8 | 外面:ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい黄橙色 | 密 | 外面黑班 | 山本<30 |
| 88 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 土師器 饗 | 口径:※8.2 器高:△3.4 | 口縁部1/4 | 外面:ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 淡橙色 にぶい黄色 | 密 | | 山本く26 |
| 89 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 土師器 低脚坏 | 器高:△3.4 底径:5.6 | 脚部1/5欠損 | 外面:ハケメ→ナデ 内面:受部不明、脚部ナデ | にぶい黄橙色 にぶい褐色 | やや粗、0.5~2㎜の 砂粒を含む | 脚部2箇所穿孔 | 山本く29 |
| 90 | 東区 | SI28 撹乱層 | 第43図 PL.38 | 上師器 鼓形器台 | 器高:6.6 底径:18.4 | 簡部1/3 | 外面:ナデ 内面:受部不明、脚部ケズリ、 脚端部ナデ | 淡黄色 | や ヤ 粗、1~3 mm の 石英を含む | | 山本く28 |
| 91 | 東区 | S129 P3 埋土 | 第45図 PL.38 | 土師器 養 | 口径:※18.1 器高:△10.1 | 口縁部1/5 | 外面: 口縁~頸部ナデ、体部ハケメ 内面: 口縁~頸部ナデ、以下ケズリ | 明黄褐色 | 密、0.5~1㎜の石英 を含む | 外面煤付着 | 山本く31 |
| 92 | 東区 | SI29 埋土 | 第45図 PL.38 | 土師器 | 口径:※15.6 器高: △4.7 | 口縁部1/8 | 内外面:横ナデ | にぶい黄橙色 | 密 | | 山本く34 |
| 93 | 東区 | 程工 SI29 埋土 | 第45図 PL.38 | 上師器 低脚坏脚部 | 器高: △3.6 | _ | 内外面:横ナデ | 浅黄色 | 密 | 坏部との接合面が 刺突される | 山本<33 |
| 94 | 東区 | 型工 SI29 床面付近 | 第45図 PL.38 | 土師器 低脚坏 | 口径:14.0 器高:4.0 底径:3.3 | 口縁部1/2 | 外面: 坏部ミガキ、脚部ナデ 内面: 坏部ミガキ、脚部ナデ | 黄橙色 | 密 | 刺突される | 山本く32 |
| 95 | 東区 | SI29 床面付近 | 第45図 | 土師器 低脚坏 | 口径:※12.0 器高:5.0 | 口縁部1/2 | 外面: 坏部ハケメ、脚部ナデ 内面: 坏部ミガキ、脚部ナデ | 明黄褐色 | 密 | | 山本く35 |
| 96 | 東区 | SI30 埋土 | 第46図 PL.44 | 土師器 | 口径:※18.6 器高:△15.1 | 口縁部1/5 | 外面: 口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面: 口縁〜頸部ナデ、以下ケ スリ | 黒褐色 | 密、1~2㎜ の 石 英 を含む | | 山本く37 |
| 97 | 東区 | SI30 埋土 | 第46図 PL.44 | 土師器 高坏 | 器高: △5.1 底径:※9.8 | 脚部1/4 | 外面: ハケメ→脚筒部ミガキ 内面: ナデ | にぶい黄橙色 | 密 | | 山本く36 |
| 98 | 東区 | SI41 埋土 | 第48図 PL.42 | 土師器 | 口径: 20.2 器高: △12.0 | 口縁部ほぼ完存 肩部3/4 | 外面:口縁部ヨコナデ肩部ハケメ | 浅黄橙色 | 径 1 mm以下の砂粒、 石英、金雲母を含む 密 | 外面、口縁部内面 赤彩 肩部に櫛描 直線文・波状文 | 小山 2 |
| 99 | 東区 | SI41 床面 | 第48図 PL.42 | 土師器 | 口径: 32.5 器高: △46.7 | 底部欠損 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部縦 ハケメ→機ハケメ | にぶい黄橙色 | 径 2 mm以下の石英、 砂粒を含む 密 | 内面底部付近に煤 | 清水24 |
| | | | | | | | | | | | |

第14表 三林遺跡出土土器観察表(4)

| | T | 遺構 | 挿図 | 種別 | 1 | 1 | 床遺跡出土土器観祭 ┌───── | 1 | 7, 1 | Mtsake | eta ind de at |
|-----|----|--------------------|----------------------------|------------------|--------------------------------|-------------------|---|---------------------------|----------------------------------|----------|---------------|
| No. | 地区 | 層位 | PL | 器種 | 法量 [cm] | 残存率 | 調整 外面: 坏部ハケメ→ナデ、脚部 | 色調 | 胎上 | 備考 | 実測者No. |
| 100 | 東区 | SI41 床面 SI43 | 第48図 PL.42 第49図 | 土師器 高坏 土師器 | 口径:26.0 器高:△8.7 口径:※18.8 | 口縁部3/4 | 大面・中部パラスーテラ、胸部 ミガキ 内面:ナデ | 橙色 | 径3m以下の砂粒を 多く含む 密 径1m以下の砂粒、 | | 小山1 |
| 101 | 東区 | 埋土 | PL.41-1 | 型工師院 | 器高: △7.5 | 口頸部1/8 | 内外面:ナデ | にぶい黄橙色 | 金雲母を含む 密 | | 芝田4 |
| 102 | 東区 | SI43 床面付近 | 第49図 PL.41-1 | 上師器 高坏 | 口径:※20.4 器高:△5.7 | 口縁部1/4 | 内外面:ミガキ? | にぶい黄橙色 | 径 1 mu以下の石英、 金雲母、砂粒を含む 密 | | 芝田5 |
| 103 | 東区 | SI44 | 第50図 PL.44 | 土師器 要 | 口径:※14.0 器高:△8.3 | 口縁部1/4 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケズリ | 明黄褐色 | 窑 | 外面煤付着 | 山本く15 |
| 104 | 東区 | SI44 | 第50図 PL.44 | 土師器 喪 | 口径:※16.8 器高:△5.8 | 口縁部1/8 | 外面:口縁~頸部ナデ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケ ズリ | 浅黄色 | 185 | 外面煤付着 | 山本く16 |
| 105 | 東区 | SI44 | 第50図 PL.44 | 土師器 高坏 | 口径:※28.4 器高:△6.0 | 口縁部1/14 | 外面:ミガキ 内面:不明 | にぶい黄色 | や や 粗、1~2mm の 石英を多く含む | | 山本く17 |
| 106 | 東区 | SI45 | 第51図 PL.43-4 | 弥生土器 妻 | 口径:※22.8 器高:△7.7 | 口緑部1/4 | 外面:口縁部多条平行沈線、頭 部以下ナデ 内面:口縁〜顕部ミガキ→口縁 端部ナデ、顕部以下ケズリ | 浅黄橙色 | 密、0.5~3mmの石英 を含む | | 山本ひ6 |
| 107 | 東区 | SB4 東灣埋土 | 第54図 | 弥生土器 喪 | 口径:※14.5 器高:△4.4 | 口緑部1/6 | 外面:ナデ 内面:口縁〜顕部ナデ、以下ケ ズリ | 灰白色 灰白色~浅黄橙色 | やや密、0.5~1.5mm の砂粒を含む | | 伊藤5 |
| 108 | 東区 | SB 5 P 3 埋土 | 第54図 | 土師器 養 | 口径:※13.7 器高:△4.4 | 口縁部1/8 | 外面:ナデ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケ ズリ | 浅黄橙色~にぶい褐色 浅黄橙色 | 密、0.5~1.5mmの砂 粒を含む | | 伊藤6 |
| 109 | 東区 | SA 2 P 1 埋土 | 第55図 | 弥生土器 寰 | 口径:※15.2 器高:△3.0 | 口縁部1/12 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頸部ナデ 内面:ナデ | 橙色 浅黄橙色~橙色 | やや密、0.5~2mmの 砂粒を含む | 外面煤付着 | 伊藤8 |
| 110 | 東区 | SK 1 底面 | 第56図 PL.45 | 弥生土器 喪 | 口径:※12.0 器高:△3.3 | 口録部1/8 | 外面:口縁部沈線、頸部ナデ 内面:ナデ | 橙色 | 径2㎜以下の砂礫を まばらに含む 密 | | 清水1 |
| 111 | 東区 | SK29 | 第61図 PL.43-7 | 土師器 養 | 口径:※19.4 器高:△10.8 | 口綠部1/2 | 外面:口縁~頸部ナデ、体部ハ ケメ内面:口縁~頸部ナデ、以 下ケズリ | 浅黄橙色 | 密、1~3mm の 石 英 を含む | 肩部に刺突列点文 | 山本ひ5 |
| 112 | 東区 | SK29 埋土 | 第61図 | 土師器 鼓形器台 | _ | 受け部1/8 | 内外面:ナデ? | 浅黄橙色 | 径 5 m以下の石英、 砂粒をまばらに含む | | 芝田3 |
| 113 | 東区 | SK29 埋土 | 第61図 | 土師器 低脚坏 | 器商:△3.1 | | 内外面:ミガキ | にぶい黄橙色 淡黄色 | 径1.5mm以下の砂粒 をやや多く含む 密 | 外面赤彩 | 芝田2 |
| 114 | 東区 | SK31 埋土 | 第63図 PL.45 | 土師器 翌 | 口径:※17.2 器高:△11.7 | 口線部1/4 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部横・ 斜めハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ | にぶい橙色 黒褐色 | 径1.5mm以下の砂粒、 雲母を多く含む 密 | | 清水16 |
| 115 | 東区 | P 67 埋土 | 第65図 | 土師器 翌 | 器高:△19.7 | 肩部1/2 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部ハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、肩部指 頭圧痕、胴部ケズリ | にぶい橙色 | 径1.5mm以下の砂粒 をまばらに含む 密 | 外面全体に煤付着 | 綾木1 |
| 116 | 東区 | SX 1 | 第67図 PL.47 巻頭 PL.3-1 | 土師器 蔵骨専用器 | 口径:20.5 器高:∆21.8 | 口縁部完存 体部1/5欠損 | 外面:ナデ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ、 底部ナデ | にぶい橙色~明赤褐色 にぶい橙色~赤褐色 | やや密、0.5〜2mmの 砂粒を含む | 外面に黒班 | 伊藤9 |
| 117 | 東区 | SX 1 | 第67図 PL.47 巻頭 PL.3-1 | 土師器 蔵骨専用器 | 口径:15.5 器高:18.6 | ほぼ完存 | 外面:口縁部ナデ、体部ミガキ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ、 底部ナデ | 橙色~灰褐色 | 密、0.5~2mm大の砂 粒を含む | 内外面に黒班 | 伊藤1 |
| 118 | 東区 | SX 1 | 第67図 PL.47 巻頭PL3-1 | 土師器 發骨専用器 | 口径:※29.0 器高:7.1 | 口錄部4/5 | 外面:口縁部ナデ、体部ケズリ →ナデ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ →ナデ | 浅黄橙色~明赤褐色 にぶい黄橙色~橙色 | やや密、0.5〜2mmの 砂粒と5mm大の礫を 含む | | 伊藤2 |
| 119 | 東区 | SX 1 | 第67図 PL.47 巻頭PL3-1 | 土師器 蔵骨専用器 | 口径:23.2 器高:22.5 | ほぼ完存 | 外面:口縁部ナデ、体部ミガキ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ、 底部ナデ | にぶい黄橙色~明赤褐色 黄橙色~明赤褐色 | やや密、0.5~3mmの 砂粒を含む | 外面に黒斑 | 伊藤10 |
| 120 | 東区 | SX 1 | 第67図 PL.47 巻頭PL3-1 | 土師器 蔵骨専用器 | 口径:28.5 器高:13.2 | 完存 | 外面:口縁部ナデ、体部ミガキ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ →ナデ | にぶい黄檀色~明赤褐色 にぶい黄檀色~橙色 | 密、0.5~3mmの砂粒 を含む | | 伊藤3 |
| 121 | 東区 | SX 1 撹乱 | 第67図 PL.47 | 須恵器 長頸壺 | 口径:8.3 器高:22.2 底径:9.8 | 体部1/5欠損 | 外面:頸~体部回転ナデ、底部 ナデ→ヘラ記号 内面:回転ナデ | 灰色~暗灰色 | 密、0.5~2㎜の砂粒 を含む | ヘラ記号「×」 | 伊藤4 |
| 122 | 東区 | SX 2 | 第67図 PL.47 巻頭PL.4-2 | 須恵器 長頸壺 | 口径:※9.0 器高:26.3 底径:9.0 | 口縁部1/3 肩部1/3欠損 | 内外面:回転ナデ | 浅黄色~緑灰色 | 密 | | 山本く5 |
| 123 | 東区 | SX 2 | 第67図 巻頭 PL.4-2 | 土師器 坏 | 口径:11.6 器高:4.4 底径:8.3 | 口縁部1/5 欠損 | 外面:体部回転ナデ、底部ナデ 内面:回転ナデ | にぶい黄橙色~ 赤褐色 | 審 | 内外面赤彩 | 山本く1 |
| 124 | 東区 | SX 2 | 第67図 PL.47 巻頭PL.4-2 | 土師器 坏 | 口径:11.3 器高:3.6 底径:7.9 | 完存 | 外面:体部回転ナデ、底部回転 ヘラ切り→ナデ 内面:回転ナデ | にぶい黄橙色~ 赤褐色 | 密 | 内外面赤彩 | 山本く2 |
| 125 | 東区 | SX 2 | 第67図 巻頭 PL.4-2 | 土師器 坏 | 口径:12.0 器高:5.5 底径:8.3 | 口縁~底部 1/5欠損 | 外面:体部回転ナデ、底部回転 ヘラ切り→ナデ 内面:回転ナデ | にぶい黄橙色~ 赤褐色 | 密 | 内外面赤彩 | 山本<3 |
| 126 | 東区 | SX 2 | 第67図 巻頭PL4-2 | 上師器 坏 | 口径:※12.2 器高:4.0 底径:※6.4 | 口縁~体部 1/2 | 外面:体部回転ナデ、底部回転 ヘラ切り→ナデ 内面:回転ナデ | にぶい黄橙色~ 赤褐色 | 密 | 内外面赤彩 | 山本く4 |
| 127 | 北区 | SI23 床面付近 | 第68図 PL.38 | 上師器 饗 | 器高:△16.7 | 胴部1/4 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、以下ケズリ | 浅黄色 | や や 組、1~3mm の 石英を多量に含む | 外面煤付着 | 山本<23 |
| 128 | 北区 | SI23 埋土 | 第68図 PL.38 | 底部 | 器高:△1.7 底径:※7.6 | 底部1/4 | 外面:ナデ 内面:ケズリ | 明黄褐色 浅黄色 | 密 | | 山本く24 |
| 129 | 北区 | SI24 床面付近 | 第71図 PL.37 | 土師器 褒 | 器高:14.8 口径:※10.0 | 口縁部2/3 体部1/4欠損 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁部ナデ、頸部以下ケ ズリ | 橙色~にぶい黄橙色 にぶい黄橙色~橙色 | 審 | 外面煤付着 | 福田4 |
| 130 | 北区 | SI24 床面 | 第71図 PL.37 | 土師器 翌 | 器高:△12.0 口径:※13.4 | 口縁部6/7 体部1/2 | 外面:口縁~肩部ナデ、体部ハ ケメ 内面:口縁~頸部ナデ、以下ケ ズリ | にぶい黄橙色〜橙色 にぶい橙色〜にぶい黄檀色 | 密、1mmの砂粒を含 む | 外面煤付着 | 福田3 |
| 131 | 北区 | SI24 床面他 | 第71図 PL.37 | 土師器 脚付捥 | 口径:※17.0 器高:8.0 底径:8.7 | 坏部・脚部 1/2 | 外面:ハケメ→ミガキ? 内面:ナデ? | 浅黄橙色 | 径 1 m以下の石英、 砂粒を含む 密 | | 綾木4 |
| | | | | | | | | | | | |

第15表 三林遺跡出土土器観察表 (5)

| No. 132 | 地区 | | | | | | 1 | 1 | | | 1 |
|------------|--------------|-----------------------|-----------------|------------------|----------------------------------|------------------|--|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------|
| 132 | | 遺構 層位 | 挿図 PL | 種別 器種 | 法量 (cm) | 残存率 | 調整 | 色調 | 胎土 | 備考 | 実測者No. |
| | 北区 | SI24 下層 | 第71図 | 土師器口縁部 | 口径:※22.4 器高:△1.4 | 口緑部1/10 | 内外面:ナデ | 橙色 | 径1㎜以下の砂粒を 多く含む | 外面黑斑 | 芝田1 |
| 133 | 北区 | SI24 床面 | 第71図 PL.37 | 土師器 鼓形器台 | 器高:△11.9 底径:※20.4 | 受け部・脚 部1/2 | 外面:ナデ 内面:受け部ケズリ→ナデ、脚 部ケズリ | にぶい橙色 | 径 2 m以下の石英、 砂粒を僅かに含む 密 | | 綾木2 |
| 134 | 北区 | SI26 | 第72図 PL.38 | 土師器 鼓形器台 | 口径:※18.0 器高:△4.4 | 口綠部1/12 | 外面:ナデ 内面:ハケメ→ナデ | にぶい黄色 | 密 | | 山本<39 |
| 135 | 北区 | SI26 | 第72図 PL.38 | 土師器 鼓形器台 | 器高:△3.5 | 脚部1/12 | 外面:ナデ 内面:筒部ナデ、脚部ケズリ | にぶい黄色 | 密、1~2mm の 石 英 を含む | | 山本<38 |
| 136 | 南区 | SI31 埋土 | 第74図 | 弥生土器 褒 | 口径:17.0 器高:△7.1 | 口縁部ほぼ 完存 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 にぶい橙色 | 径 2 mi以下の砂粒を 含む 密 | 肩部に櫛描波状文 | 福田42 |
| 137 | 南区 | SI31 (旧) 床面 | 第74図 PL.43-3 | 弥生土器 甕 | 口径:※14.4 器高:△15.0 | 口縁部1/2 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頭部ナデ、体部ミガキ 内面:口縁部ナデ、頭部ミガキ、 以下ケズリ | にぶい黄橙色 | 密、0.5~3mmの長石 を含む | 肩部に多条平行 沈線文と押引列点 文、外面煤付着 | 山本ひ3 |
| 138 | 南区 | SI32 床面 | 第76図 PL.39 | 土師器 | 口径:21.0 器高:32.4 | 胴部の一部 欠損 | 外面:口頸部ヨコナデ、胴部縦 ハケメ→横ハケメ 内面:口頸部ヨコナデ、胴部ケ ズリ→ナデ、底部指頭圧痕 | 浅黄橙色 | 径 1 mm以下の砂粒を 僅かに含む 密 | 頸部に羽状刺突文 口縁部内外面に煤 付着 | 清水23 |
| 139 | 南区 | SI32 埋土 | 第76図 PL.39 | 土師器 壺 | 口径:※14.2 器高:△13.8 | 口縁部1/2 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部横 ハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ | 黄橙色 明黄褐色 | 径 5 m以下の石英、 砂礫をやや多く含む 密 | 外面煤付着 | 小山 3 |
| 140 | 南区 | SI32 床面 | 第76図 PL.41-1 | 土師器 饗 | 口径:※13.2 器高:△18.0 | 口縁部1/4 胴部1/2 | 外面:口縁部ヨコナデ、胴部ハケメ 内面:口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ | にぶい黄橙色 浅黄橙色 | 径 3 mm以下の石英、 砂粒、金雲母をやや 多く含む 密 | | 井上9· 10·11 |
| 141 | 南区 | SI32 埋土 | 第76図 PL.39 | 土師器 高坏 | 口径:18.6 器高:△11.6 | 坏部ほぼ完存 | 外面:ハケメ→ミガキ 内面:坏部横ハケメ→ミガキ、 脚部ケズリ、ハケメ | 浅黄橙色 にぶい黄橙色 | 径 1 m以下の砂粒、 金雲母を僅かに含む 密 | 脚部に透孔1孔 | 井上8 |
| 142 | 南区 | SI32 | 第76図 PL.39 | 土師器 低脚坏 | 口径:17.4 器高:5.7 底径:5.9 | ほぼ完形 | 外面: 坏部ハケメ→ミガキ、脚 柱部ミガキ、脚裾部ナデ 内面: 口縁部ハケメ、坏底部ナデ | 浅黄橙色 | 径1m以下の砂粒を 含む 密 | | 井上7 |
| 143 | 南区 | SI32 埋土 | 第76図 PL.39 | 土師器 高坏 | 口径:14.6 器高:△5.5 | 坏部ほぼ完存 | 外面:縦ハケメ 内面:ミガキ | 橙色 | 径2m以下の石英、砂粒をまばらに含む密 | 内外面赤彩 | 井上5 |
| 144 | 南区 | SI32 埋土 | 第76図 PL.39 | 土師器 高坏 | 口径:※22.0 器高:△9.3 | 口縁部2/3 | 外面: 坏部ハケメ→ナデ、指頭圧痕 内面: 坏部ハケメ→坏部下半ナデ | にぶい橙色 | 密 | 坏底背面に穴2箇 所 | 福田2 |
| 145 | 南区 | SI32 | 第76図 PL.39 | 土師器 高坏 | 口径:20.6 器高:△4.9 | 口縁部完存 | 外面: 口縁部ヨコナデ、坏底部 ハケメ→ミガキ 内面: ミガキ | にぶい黄橙色 | 径1m以下の砂粒を やや多く含む 密 | 外面煤付着 | 井上6 |
| 146 | 南区 | SI32 床面 | 第76図 PL.40 | 土師器 鼓形器台 | 口径:19.5 器高:11.1 底径:17.3 | 口縁部4/5 脚部4/5 | 外面:ナデ 内面:受け部ケズリ→ナデ、脚 部ケズリ | 黄橙色 | 径 5 m以下の雲母、 角閃石、砂粒をやや 多く含む 密 | 外面煤付着 | 小山 4 |
| 147 | 南区 | SI32 床面 | 第76図 PL.40 | 土師器 鼓形器台 | 口径:19.8 器高:12.1 底径:18.4 | ほぼ完形 | 外面:ナデ? 内面:受け部ナデ?脚部ケズ リ? | 浅黄橙色 | 精良、密 | 摩滅著しい | 小山 5 |
| 148 | 南区 | SI33 床面 | 第78図 PL.41-2 | 土師器 號 | 器高:△14.9 | 肩部1/2 | 外面:体部ハケメ 内面:頸部ナデ、以下ケズリ | 浅黄橙色 | 密、1~3mmの長石 を含む | 肩部に波状文と刺 突列点文 | 山本ひ7 |
| 149 | 南区 | SI33 埋土 | 第78図 | 弥生土器 器台 | | 脚部1/4 | 外面:ミガキ 内面:ミガキ、ナデ | 橙色 | 径2㎜以下の砂礫を やや多く含む 密 | 外面に3条の沈線2 段、三角形の透孔2孔 | 井上12 |
| 150 | 南区 | SI33 埋土 | 第78図 PL.41-2 | 土師器 鼓形器台 | 口径:21.0 器高:10.9 | 口緑部9/10 脚部1/3 | 外面:ナデ 内面:受け部ケズリ→ナデ、脚 部ナデ | にぶい黄橙色 浅黄橙色 | 径 2 mu以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | IX = Movement | 井上4 |
| 151 | 南区 | SI33 床面 | 第78図 PL.41-2 | 上師器 脚付椀 | 口径:18.2 器高:△8.0 | 坏部完存 脚裾部欠損 | 外面:縦ハケメ→ヨコナデ 内面:坏部ミガキ、脚部ナデ | 浅黄橙色 | 径1m以下の砂粒を 多く含む 密 | 内外面赤彩 | 井上2 |
| 152 | 南区 | SI33 床面 | 第78図 PL.41-2 | 上師器 脚付椀 | 口径:17.2 器高:8.8 | 坏部完存 脚裾部欠損 | 外面: 坏部縦ハケメ、脚部ナデ 内面: 坏部ケズリ→ナデ、脚部ナデ | 橙色 | タ、日 田 径 3 mm以下の砂粒を 多く含む 密 | 内外面 被熱のため赤化 | 井上1 |
| 153 | 南区 | SI33 床面 | 第78図 PL.41-2 | 土師器 | 口径:16.2 | 口縁部9/10 | 内外面:ミガキ | 白灰色 にぶい黄橙色 | 径2mm以下の砂礫を | 放然のためが15 | 井上3 |
| 154 | 南区 | SI34 埋土 | 第80図 PL.44 | 低脚坏 弥生土器 獿 | 器高: △4.3 口径:※13.4 器高: △7.4 | 口縁部1/4 | 外面:口縁~体部ナデ | にぶい黄檀色 | | 肩部に刺突列点 | 山本く18 |
| | | | | | | | 内面:口縁~顎部ナデ、以下ケズリ 外面:口縁拡張部に8条の凹線 | | を含む | 文、外面煤付着 | |
| 155 | 南区 | SI34 床面 | 第80図 PL.44 | 弥生土器 器台 | 口径:※17.2 底径:※15.4 | 口縁部1/4 脚部1/4 | 文、体部ミガキ、脚部ハケメ、 脚端拡張部に7条の凹線文 内面:受部ミガキ、脚部ケズリ | にぶい黄色 | や ヤ 粗、1~3mm の 砂粒を多く含む | 内外面赤彩 | 山本く19 |
| 156 | 南区 | SI35 埋土 | 第82図 PL43-5 | 弥生土器 甕 | 口径:※19.0 器高:△13.3 | 口緣部1/3 | 外面: 口縁部多条平行沈線文、 頸部ナデ、体部ミガキ 内面: 口縁~頸部ミガキ→ナデ、 以下ケズリ | 浅黄色 | 密、1~3mm の 石 英 を含む | 屑部に断続的な平 行沈線文、外面媒 付着 | 山本ひ2 |
| 157 | 南区 | SI35 埋土 | 第82図 | 弥生土器 甕 | 口径:※15.2 器高:△10.6 | 口綠部4/5 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 明黄褐色 | 径1㎜以下の砂粒を 多く含む 密 | 肩部に貝殻腹縁に よる押引刺突文 | 清水18 |
| 158 | 南区 | SI35 AP5埋土 | 第82図 PL.44 | 弥生土器 褒 | 口径:※18.6 器高:△4.7 | 口縁部1/16 | 外面: 口縁部多条平行沈線文、 頸部ナデ 内面: 口縁部ナデ、頸部以下ケズリ | 明黄褐色 | 密、0.5~1mmの石英 を含む | | 山本く41 |
| 159 | 南区 | SI35・47 上層包含層 | 第82図 | 土師器 高坏 | 器高:△9.3 底径:12.5 | 坏底部1/3 脚部完存 | 外面:ハケメ? 内面:脚部絞り目、脚裾部ハケメ | 橙色 | 径2m以下の石英、 砂粒をやや多く含む | 脚内面に線刻 | 清水17 |
| 160 | 南区 | SI35 埋土 | 第82図 PL,44 | 弥生土器 器台 | 口径:※20.4 器高:△6.7 | 受部1/4 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 体部ミガキ 内面:ミガキ | 赤褐色 | 密 | 内外面赤彩、端部 内面に煤付着 | 山本く40 |
| 161 | 南区 | SI35・47 上層包含層 | 第82図 PL.43-5 | 土師器 褒 | 口径:※12.4 器高:△13.1 | | 外面:口縁~頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁部ナデ、頸部以下ケ ズリ→ナデ | 橙色 | 0.5~1m の砂粒を まばらに含む | 外面煤付着 | 山本ひ1 |
| 162 | 南区 | SI38 埋土 | 第85図 PL.44 | 上師器 饗 | 口径:※17.0 器高:△9.9 | 口縁部1/8 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、肩部指 頭圧痕、体部ケズリ | 明黄褐色 | 密 | 外面煤付着 | 山本く22 |
| 163 | 南区 | SI39 P2埋土上面 | 第87図 PL.44 | 土師器 甕 | 口径:※13.2 器高:△11.1 | 口縁部1/4 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、肩部指 頭圧痕→ナデ、体部ケズリ | 赤褐色 | 密、1~2㎜の砂粒を含む | 口縁内面に列点文 状の圧痕 | 山本く14 |
| 164 | 南区 | SI39 床面 P1・P5埋土 | 第87図 | 土師器 壺 | 口径:※11.6 器高:△8.2 | 口箭邨1/4 | 外面: 口縁部ヨコナデ、肩部ハ ケメ 内面: 口縁部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | 橙色 | 径 1 m以下の砂粒、 雲母を多く含む 密 | 口縁部外面煤付着 | 福田43 |

第16表 三林遺跡出土土器観察表(6)

| | , | | 1 | | 第16 | 11X 1 | 沐遺跡出土土器観祭 | 12 (0) | | 1 | 1 |
|-----|----|--------------|------------------|--------------|-------------------------------|----------------------|--|----------------|----------------------------------|--|--------|
| No. | 地区 | 遺構 層位 | 挿図 PL | 種別 器種 | 法量 (cm) | 残存率 | 調整 | 色調 | 胎土 | 備考 | 実測者No. |
| 165 | 南区 | SI39 埋土 | 第87図 | 土師器 高坏 | 器高:△7.2 底径:9.6 | 脚裾部・脚 柱部完存 | 外面:脚柱部ハケメ→ミガキ、 脚裾部ナデ 内面:脚裾部ハケメ | 橙色 | 精良、密 | 外面赤彩 | 福田44 |
| 166 | 南区 | SI25 埋土 | 第87図 PL.32 | 弥生土器 饗 | 口径:※16.0 器高:△3.8 | 口縁部 1/10以下 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径1 m以下の砂粒を 含む 密 | 内外面赤彩 | 福田41 |
| 167 | 南区 | SI40 壁溝埋土 | 第89図 PL.43-6 | 土師器 喪 | 口径:※14.6 器高:△11.7 | 肩部1/4 | 外面:口縁〜頸部ナデ、体部ハ ケメ 内面:口縁〜頸部ナデ、肩部指 頭圧痕→ナデ、以下ケズリ | にぶい黄橙色 | 密、1~3mmの石英・ 長石を含む | 外面煤付着 | 山本ひ4 |
| 168 | 南区 | SA3 P3埋土 | 第91図 | 弥生土器 翌 | 器高: △3.7 口径:※15.7 | 口緑部1/12 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頭部横ナデ 内面:ナデ | にぶい橙色〜褐色 橙色 | 密、0.5~1.5㎜の砂 粒を含む | | 伊藤7 |
| 169 | 南区 | SK 5 埋土 | 第93図 PL,45 | 弥生土器 甕 | 口径:※22.0 器高:△7.6 | 口綠部1/10 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頭部ナデ 内面:口縁部ナデ、頸部ケズリ | 浅黄橙色 | 径 1 m以下の石英、 砂粒を含む 密 | | 清水2 |
| 170 | 南区 | SK 5 埋土 | 第93図 PL.45 | 弥生土器 饗 | 口径:※14.3 器高:△7.6 | 口縁部1/10 | 外面:口縁部沈線、肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 褐灰色 にぶい橙色 | 径1mm以下の砂粒を 含む やや粗 | 肩部に波状文 肩部外面煤付着 | 清水3 |
| 171 | 南区 | SK 6 埋土 | 第93図 PL.45 | 弥生土器 饗 | 口径:※13.7 器高:△4.2 | 口緑部1/8 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 類部ナデ 内面:口縁部ミガキ、頸部ナデ、 肩部ケズリ | にぶい橙色 | 径 1 m以下の砂礫を 多く含む | 内外而赤彩 | 清水 4 |
| 172 | 南区 | SK 7 埋土 | 第93図 PL.45 | 弥生土器 甕 | 口径:※11.2 器高:△4.1 | 口縁部1/8 | 外面:口縁部沈線文、頸部ハケメ 内面:口縁部ナデ、頸部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径 1 mm以下の砂粒、 角閃石を含む 密 | 外面煤付着 | 清水6 |
| 173 | 南区 | SK 7 埋土 | 第93図 PL,45 | 弥生土器 饗 | 口径:※15.0 器高:△3.6 | 口緣部1/10 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頭部ナデ 内面:ナデ | 褐灰色 にぶい橙色 | 径 2 m 以下の石英、 砂粒を多く含む 密 | 外面煤付着 | 清水 7 |
| 174 | 南区 | SK 7 埋土 | 第93図 PL.45 | 弥生土器 饗 | 口径:※14.3 器高:△3.8 | 口縁部1/8 | 外面:ナデ 内面:口縁部ナデ、頸部ケズリ | 浅黄橙色 | 径1mm以下の砂粒を 含む 密 | 内外面赤彩 | 清水 5 |
| 175 | 南区 | SK 8 埋土 | 第94図 PL.45 | 弥生土器 甕 | 口径:※20.5 器高:△6.2 | 口縁部1/5 | 外面:口緑部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径 1 m以下の砂粒、 金雲母を含む 密 | | 清水 8 |
| 176 | 南区 | SK 8 埋土 | 第94図 PL.45 | 弥生土器 壺 | 口径:10.6 器高:△4.3 | 口綠部1/2 | 内外面:ミガキ | 赤褐色 | 径2㎜以下の砂礫を やや多く含む 密 | 内外面赤彩 | 清水9 |
| 177 | 南区 | SK10 埋土 | 第95図 PL.45 | 弥生土器 養 | 口径:※20.9 器高:△5.4 | 口緑部1/3 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 浅黄橙色 | 径 1 ㎜以下の砂粒を やや多く含む 密 | 外面煤付着 | 清水11 |
| 178 | 南区 | SK10 埋土 | 第95図 PL.45 | 弥生土器 甕 | 口径:※14.6 器高:△4.4 | 口縁部1/10 | 外面:多条平行沈線文 内面:ナデ | 浅黄色 | 径1㎜以下の砂粒を 多く含む 密 | | 清水10 |
| 179 | 南区 | SK13 埋土 | 第96図 PL.45 | 弥生土器 甕 | 口径:※16.0 器高:△3.9 | 口録部1/10 | 内外面:ナデ | 橙色 | 径3㎜以下の小礫を まばらに含む 密 | | 清水12 |
| 180 | 南区 | SK13 埋土 | 第96図 PL.45 | 弥生土器 褒 | 口径:※16.2 器高:△7.4 | 口緑部1/4 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 橙色 | 径 1 m以下の石英、 砂粒を多く含む 密 | 肩部外面に波状 文、外面に煤付着 | 清水13 |
| 181 | 南区 | SK14 埋土 | 第97図 PL.45 | 弥生土器 翌 | 口径:※16.4 器高:△5.0 | 口縁部1/10 | 外面:ナデ、 内面:ロ縁部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | 橙色 黄橙色 | 径 1 mm以下の砂粒を 多く含む 密 | 外面煤付着 | 清水14 |
| 182 | 南区 | SK22 埋土 | 第98図 PL.45 | 弥生土器 寶 | 口径:※18.6 器高:△4.8 | 口綠部1/4 | 外面:口縁部沈線文、頸部ナデ 内面:口縁部ヨコナデ、頸部ミ ガキ、肩部ケズリ | 橙色 | 径2m以下の石英、 砂粒をまばらに含む 密 | 口綠部外面煤付着 | 清水15 |
| 183 | 南区 | SK22 埋土 | 第98図 | 弥生土器 褒 | 口径:15.9 器高:△6.0 | 口縁部ほぼ 完存 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 肩部ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | 橙色 | 径 1 mm以下の砂粒を 含む 密 | 口縁部外面に煤付 着 | 清水19 |
| 184 | 南区 | SK22 埋土 | 第98図 | 弥生土器 喪 | 口径:14.0 器高:△10.6 | 口縁部ほぼ 完存 肩部1/4 | 外面:口縁部不明、胴部ナデ? 内面:口縁部ナデ、胴部ケズリ | 赤橙色 | 径1㎜以下の砂粒を やや多く含む 密 | 肩部に櫛描波状文 口縁部被熱して赤 化 | 清水21 |
| 185 | 南区 | SK22 埋土 | 第98図 | 弥生土器 壺 | 口径:※13.8 器高:△5.9 | 口縁部1/4 | 外面:ナデ 内面:口縁部ナデ、肩部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径3m以下の砂粒を 多く含む 密 | | 清水20 |
| 186 | 南区 | P 1 埋土 | 第100図 PL.46-1 | 土師器 小型丸底壺 | 口径:7.0 器高:6.7 | ほぼ完形 | 外面:口縁~体部上半ナデ、下 半ハケメ 内面:口縁部ナデ、体部ケズリ →底部指頭圧痕 | 橙色~浅黄橙色 | 密、細かな砂粒を多 く含む | 体部に焼成後穿孔 | 厨子1 |
| 187 | 南区 | G15 腐植土層 | 第101図 | 弥生土器 菱 | 口径:15.6 器高:△7.1 | 口緑部1/2 | 外面:口縁部凹線文、頸部ヨコ ナデ、肩部縦ハケメ 内面:口縁部ナデ、頸部横ハケ メ、肩部ケズリ | 黄橙色 | 径2mm以下の砂粒を やや多く含む 密 | | 小山12 |
| 188 | 南区 | G13 包含屬 | 第101図 PL46-3 | 弥生土器 壺 | 口径:13.5 器高:△9.9 | 口縁部3/4 | 外面:口縁部ヨコナデ、頸部ミガキ 内面:口縁部ヨコナデ、頸部ケズリ→ミガキ | 黄灰色 明黄褐色 | 径1mm以下の砂粒を 多く含む 密 | | 小山14 |
| 189 | 南区 | G14 包含屬 | 第101図 PL.46-3 | 弥生土器 童 | 口径:17.4 器高:∆11.3 | 口頸部完存 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頸胴部縦ハケメ 内面:口頸部横ハケメ→ナデ、 屑部ケズリ | 明黄褐色 橙色 | 径2mm以下砂粒、径 3mm以下砂礫を含む やや粗 | 頸部に羽状刺突文 | 芝田7 |
| 190 | 南区 | G15 腐植土層 | 第101図 PL.46-3 | 土師器 褒 | 口径:※19.0 器髙:△5.1 | 口縁部1/3 | 外面:口縁部多条平行沈線文、 頸部ナデ 内面:口縁部ナデ、頸部ケズリ | 橙色 | 径1.5mm以下の砂粒 をやや多く含む 密 | 内外面赤彩 | 小山11 |
| 191 | 南区 | G13 包含層 | 第101図 PL.46-3 | 弥生土器 費 | 口径:16.0 器高:17.4 底径:※4.8 | 口級部完存 腸部下半2/3 | 外面:口縁部沈線文、胴部ハケメ 内面:口縁部ナデ、胴部ケズリ | にぶい黄橙色 | 径 2 mm以下の砂粒、 4 mm以下の砂礫を含 む | 頸部に焼成前穿孔 4孔、肩部に沈線 4条、刺突文 外面赤彩 | 芝田8 |
| 192 | 南区 | G15 腐植土層 | 第101図 PL.46-3 | 土師器 高坏 | 口径:※16.7 器高:△10.9 | 口縁部1/3 | 外面: 坏部ハケメ→ナデ、脚部 ミガキ 内面: 坏部ミガキ、脚部ケズリ →ナデ | 橙色 | 径1 mm以下の砂粒、 雲母を含む 密 | | 小山15 |
| 193 | 南区 | G15 腐植土層 | 第101図 | 弥生土器 鉢 | 口径:※15.9 器高:△7.0 | 口縁部1/3 | 外面:ナデ? 内面:口縁部ナデ?胴部ケズリ | 橙色 | 径1㎜以下の砂粒を 多く含む 密 | 内外面赤彩 | 小山10 |
| 194 | 南区 | G15 腐植土層 | 第101図 | 弥生土器 壺 | 口径:10.9 器高:△3.9 | 口縁部4/5 | 外面:ナデ 内面:口縁部ヨコナデ、肩部ケ ズリ | 浅黄色 | 径1mm以下の砂粒を 含む 密 | 肩部に櫛描波状文 | 小山13 |
| 195 | 南区 | G13 包含層 | 第101図 | 弥生土器 器台 | 器高:△10.0 底径:※20.6 | 脚部1/3 | 外面:ナデ?脚裾部沈線→ナデ 内面:ナデ? | にぶい橙色 | 径1mm以下の砂粒を 多く含む 密 | 脚部の3方向に未 貫通の刻み状透孔 外面赤彩 | 清水22 |
| 196 | 東区 | J6 撹乱層 | 第101図 PL.46-2 | 須恵器 瓲 | 器高:△8.5 | 口縁端部欠損 体部完存 | 外面:ナデ→底部タタキ 内面:ナデ | 灰褐色~褐灰色 | 密 | 口縁部に波状文、 体部上半に釉 | 綾木5 |

第17表 三林遺跡出土石器・石製品観察表(1)

| | | | | 271112 | × | וצצגיויוי | :01. htt - | -141 | ・ 白製品観祭衣 | (1) | |
|-----|----|----------------|-------------------|--------|--------------|-----------|------------|--------|------------|----------------------|--------|
| No. | 地区 | 遺構 層位 | 挿図 PL | 器種 | 長さ | 法量(咖 |) 厚さ | 重量(g) | 石材 | 備考 | 実測者No. |
| S1 | 東区 | SI1 床面 | 第8図 PL.48-3 | 砥石 | 117 | 96 | 67 | 1,000 | 安山岩 | 折損品 | 水村68 |
| S2 | 東区 | SI1 床面 | 第8図 PL48-1 | 敵石・砥石 | 131 | 72 | 48 | 780 | 安山岩 | 砥石から転用 | 水村60 |
| S3 | 東区 | SI1 床面 | 第8図 PL.48-3 | 砥石 | 131 | 88 | 77 | 1,590 | 安山岩 | | 水村61 |
| S4 | 東区 | SI2 床面 | 第10図 | 敲石・磨石 | 158 | 88 | 79 | 1,380 | 紫蘇輝石角閃石安山岩 | 上下端部に顔料付着 | 水村62 |
| S5 | 東区 | SI2 | 第10図 | 砥石 | 163 | 29 | 19 | 100.7 | * 粘板岩 | 二点接合 | 水村55 |
| S6 | 東区 | 床面 SI2 | PL.48-3 第10図 | 砥石 | 84 | 34 | 54 | 140 | 流紋岩 | 擦痕顯著 | 水村54 |
| S7 | 東区 | 床面 SI2 (推定) | PL.48-3 第10図 | 砥石 | 66 | 39 | 21 | 97.5 | 流紋岩 | ほぼ全面を利用 | 水村46 |
| S8 | 東区 | 埋土 SI4 | PL.48-3 第13図 | 砥石 | 140 | 62 | 62 | 710 | 安山岩 | 1868王田と77/11 | 水村70 |
| S9 | 東区 | 床面 SI5 | PL.48-1 第15図 | 敵石・磨石 | 183 | 66 | 54 | 1,270 | 安山岩 | 正面図磨面に顔料付着 | - |
| S10 | 東区 | 埋土 SI5 | PL.48-1 第15図 | 班石 | 85 | 78 | 48 | 430 | 安山岩 | 使用頻度低い | 水村40 |
| S11 | 東区 | 床面 SI7 | PL.48-1 第20図 | 砥石 | 192 | 79 | 48 | 940 | 安山岩 | | |
| | | 床面 SI7 | PL.48-1 第20図 | | | | | | | | 水村69 |
| S12 | 東区 | 床面 SI8 | PL.48-3 | 0.000 | 104 | 55 | 49 | 330 | 流紋岩 | | 水村38 |
| S13 | 東区 | 床面 SI8 | 第22図 | 骸石・磨石 | 181 | 93 | 66 | 1,680 | 安山岩 | 正面を中心に煤付着 | 水村67 |
| S14 | 東区 | 床面 SI8 | PL.48-1 | 敞石・磨石 | 145 | 86 | 70 | 1,110 | 安山岩 | 磨石から転用 | 水村58 |
| S15 | 東区 | 床面付近 SI10 | 第22図 | 磨石 | 100 | 93 | 73 | 810 | デイサイト | 正面赤色顔料・裏面煤付着 | 水村75 |
| S16 | 東区 | 床面 | 巻頭 PL.2-3 | 砥石 | 389 | 229 | 230 | 19,000 | 花崗岩質アプライト | S17と接合 | 水村81 |
| S17 | 東区 | SI10 床面 | 第28図 巻頭 PL.2-3 | 砥石 | 163 | 135 | 72 | 1,700 | 花崗岩質アプライト | S16と接合 | 水村80 |
| S18 | 東区 | SI10 床面 | 第28図 巻頭 PL.2-3 | 砥石 | 84 | 85 | 68 | 680 | 流紋岩 | | 水村56 |
| S19 | 東区 | SI12 P10埋土 | 第31図 PL.48-5 | 石錘 | 55 | 33 | 33 | 44.6 | 黑雲母角閃石安山岩 | 縦2条横3条の溝有 | 水村20 |
| S20 | 東区 | SI12 南侧埋土 | 第32図 PL.48-1 | 敲石 | 146 | 71 | 52 | 860 | 安山岩 | | 水村42 |
| S21 | 東区 | SI12 上層 | 第32図 PL.48-1 | 敵石 | 132 | 89 | 49 | 830 | 安山岩 | | 水村57 |
| S22 | 東区 | SI15 床面 | 第34図 PL.48-3 | 砥石 | 137 | 53 | 49 | 530 | 流紋岩質凝灰岩 | | 水村47 |
| S23 | 東区 | SI17 床面付近 | 第36図 PL.48-1 | 敲石 | 99 | 96 | 42 | 680 | 安山岩 | | 水村45 |
| S24 | 東区 | SI22 P3底面 | 第39図 PL.48-2 | 敲石 | 130 | 84 | 65 | 760 | 細粒花崗岩 | 表面の風化顕著 | 水村63 |
| S25 | 東区 | SI27 北東側埋土 | 第41図 PL.48-3 | 砥石 | 145 | 73 | 71 | 1,020 | 花崗岩質アプライト | 表裏両側面が砥面 | 水村39 |
| S26 | 東区 | SI28 壁溝埋土 | 第43図 PL.48-2 | 敲石 | 170 | 92 | 75 | 1,650 | 安山岩 | 使用頻度低い | 水村66 |
| S27 | 東区 | SI41 北西側埋土 | 第48図 PL.48-2 | 敵石 | 118 | 87 | 46 | 700 | 安山岩 | 石核へ転用か | 水村44 |
| S28 | 東区 | SK31 中層 | 第63図 PL.48-2 | 敵石・砥石 | 187 | 74 | 50 | 970 | 紫蘇輝石角閃石安山岩 | 右側縁下部に顔料付着 | 水村64 |
| S29 | 東区 | P109 埋土 | 第65図 | 砥石 | 143 | 62 | 61 | 950 | デイサイト | | 水村76 |
| S30 | 北区 | SI24 床面 | 第71図 PL.48-2 | 敲石 | 172 | 120 | 102 | 1,060 | 安山岩 | 使用による破損か | 水村77 |
| S31 | 北区 | SI24 | 第71図 | 砥石 | 158 | 95 | 73 | 1,180 | 紫蘇輝石角閃石安山岩 | 原磔面に徴量の煤付着 | 水村74 |
| S32 | 北区 | 床面 SI24 | PL.48-2 第71図 | 砥石 | 53 | 28 | 11 | 30.8 | 流紋岩 | 右側面擦痕顕著 | 水村36 |
| S33 | 北区 | 中層 SI24 | PL.48-3 第71図 | 砥石 | 68 | 35 | 12 | 45.2 | 滑石 | AL DANIEL MANAGEMENT | 水村49 |
| S34 | 南区 | 床面 SI33 | PL.48-3 第78図 | 敲石 | 169 | 86 | 49 | 970 | 安山岩 | 右側縁中央部に剥離痕集中 | 水村59 |
| S35 | 南区 | 北東側埋土 SI33 | PL.48-2 第78図 | 敵石・磨石 | 85 | 70 | 51 | 320 | 紫蘇輝石角閃石安山岩 | | |
| S36 | 南区 | 北西側埋土 SI33 | PL.48-2 第78図 | 砥石 | 187 | 79 | 40 | | | 磨石から転用 | 水村65 |
| S37 | 南区 | 北西側埋土 SI33 | 第78図 | | | | | 710 | 安山岩 | 正面上部に剥離痕集中 | 水村78 |
| | | 中層 SI39 | PL.48-2 | 敬石 | 177 | 81 | 66 | 1,210 | 紫蘇輝石角閃石安山岩 | 正面下部に煤付着 | 水村73 |
| S38 | 南区 | 南西側埋土 SI40 | 第87図 | 砥石 | 60 | 30 | 12 | 22.8 | 粘板岩 | | 水村53 |
| S39 | 南区 | 壁溝埋土 SK10 | PL.48-3 第95回 | 砥石 一 | 112 | 56 | 73 | 400 | 安山岩 | 正面図砥面にポリッシュ有 | 水村50 |
| S40 | 南区 | 埋土 G13 | PL.48-3 第101図 | 砥石 | 65 | 38 | 32 | 92.5 | 流紋岩 | | 水村37 |
| S41 | 南区 | 包含層 SI12 | PL.48-4 第103回 | 太型蛤刃石斧 | 101 | 57 | 42 | 360 | 安山岩 | 基部大部分折損 | 水村43 |
| S42 | 東区 | 埋土 中央付近 | PL.49-1 第102図 | 凹基無茎鏃 | 21.1 | 18.2 | 2.5 | 0.6 | 黒曜石 | 基部の抉り深い | 水村04 |
| S43 | 東区 | 撹乱 | PL.49-1 | 凹基無茎鉄 | 20.7 | 17.3 | 3.8 | 1.1 | 黒曜石 | 正面左側縁に微細剥離痕有 | 水村08 |
| S44 | 東区 | SI44 北西側埋土 | FL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 17 | 14 | 3.6 | 0.6 | 黒曜石 | 正面基端部左側折損 | 水村52 |
| S45 | 東区 | SI43 埋土 | FL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 21.3 | 18.1 | 4.2 | 1.2 | 黒曜石 | 衝撃剥離で先端部破損か | 水村07 |
| S46 | 東区 | F6 撹乱 | PL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 25.1 | 19.9 | 5.1 | 1.7 | 黒曜石 | 両側縁鋸歯状呈す | 水村09 |
| S47 | 東区 | SI7 北東側埋土 | FL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 17.6 | 14.3 | 3 | 0.5 | ガラス質安山岩 | | 水村10 |
| S48 | 東区 | SI2 上層 | 第103図 PL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 16.2 | 13.8 | 2.5 | 0.4 | 黒曜石 | | 水村05 |

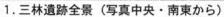
第18表 三林遺跡出土石器・石製品観察表(2)

| No. | 地区 | 遺構 | 挿図 | 器種 | | 法量 (mm) | | 重量(g) | 石材 | 備考 | 実測者No. |
|-----|-----|------------------------|------------------|--------|------|---------|-----|-------|---------|-------------|--------|
| 100 | 166 | 層位 | PL | 00 TAL | 長さ | 幅 | 厚さ | 主風(6) | 11/12 | NU-75 | 关例有NU |
| S49 | 南区 | G14 包含層 | 第103図 PL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 29 | 16 | 3.8 | 1.2 | ガラス質安山岩 | 鏃身部長い | 水村03 |
| S50 | 東区 | SI44 撹乱 | 第103図 PL.49-1 | 凹基無茎鏃 | 20.6 | 16.1 | 5.3 | 1.0 | 黒曜石 | | 水村06 |
| S51 | 東区 | SI19 P 1 4埋土 | 第103図 PL.49-1 | 横型石匙 | △50 | △65 | 9 | 23.8 | ガラス質安山岩 | 三方向の折断而有 | 水村51 |
| S52 | 東区 | SI8 埋土 | 第103図 PL.49-1 | スクレイパー | Δ10 | 21 | 5 | 1.0 | 黒曜石 | 末端部断片 | 水村19 |
| S53 | 東区 | SI9 搅乱 | 第104図 PL.49-1 | スクレイパー | 76.4 | 23.8 | 10 | 20.6 | ガラス質安山岩 | 背面側からの急斜度調整 | 水村48 |
| J1 | 南区 | SI39 床面 | 第87図 | 臼玉 | 3.5 | 1.8 | 2.8 | 0.1未満 | 滑石 | | 家塚26 |

第19表 三林遺跡出土鉄製品観察表

| | | | | יינדא | | - 117 | ,, <u></u> , | (ASCULIEV. | A. J. | |
|-----|----|-----------------------|------------------|-------|-----|--------------|--------------|------------|------------------------|--------|
| No. | 地区 | 遺構 層位 | 挿図 PL | 種別 | 長 | 法量 (mm) 幅 | 厚さ | 重量(g) | 備考 | 実測者No. |
| F1 | 東区 | SI2 埋土 | 第10図 PL.49-2 | 釘 | Δ19 | 15 | 6 | 4.9 | 叩折釘、軸部断面円形 | 家塚23 |
| F2 | 東区 | SI4 埋土 | 第13図 PL.49-2 | 穿孔具? | 33 | 8 | 5 | 2.3 | 端部は切断されたようにつぶれる | 家塚14 |
| F3 | 東区 | SI5 埋土 | 第15図 PL.49-2 | 3按 | Δ97 | 25 | 4 | 35.0 | 両端欠損 | 家塚03 |
| F4 | 東区 | SI5・13・19 埋土あるいは撹乱 | 第15図 PL.49-2 | 錐 | △65 | 13 | 4 | 10.0 | 刃部先端、基部欠損、三つ折れ | 家塚07 |
| F5 | 東区 | SI5 埋土 | 第15図 PL.49-2 | 板状鉄片 | 18 | 9 | 4 | 2.4 | | 家塚20 |
| F6 | 東区 | SI6 埋土 | 第18図 PL.49-2 | 鉇? | Δ57 | 10 | 4 | 8.5 | 端部欠損、二つ折れ | 家塚12 |
| F7 | 東区 | SI6 埋土 | 第18図 PL.49-2 | 棒状鉄片 | △54 | 5 | 3 | 3.4 | 断面方形、両端欠損、二つ折れ | 家塚13 |
| F8 | 東区 | SI8 埋土 | 第22図 PL.49-2 | 榕状鉄片 | ∆54 | 11 | 4 | 5.8 | 両端欠損 | 家塚05 |
| F9 | 東区 | SI8 3 層 | 第22図 PL.49-2 | 錐 | △25 | 15 | 3 | 1.9 | 鎬あり、基部欠損 | 家塚22 |
| F10 | 東区 | SI8 埋土 | 第22図 PL.49-2 | \$T | Δ21 | 7 | 4 | 2.8 | 頭部円形 | 家塚25 |
| F11 | 東区 | SI8 3 層 | 第22図 PL.49-2 | 板状鉄片 | 20 | 18 | 2 | 4.0 | | 家塚19 |
| F12 | 東区 | SI8 撹乱 | 第22図 PL.49-2 | 板状鉄片 | 34 | 22 | 4 | 8.0 | | 家塚17 |
| F13 | 東区 | SI10 埋土 | 第28図 PL.49-2 | 鋲付座金具 | △36 | △27 | 3 | 12.0 | 洗浄時に破損、原型留めず | 家塚21 |
| F14 | 東区 | SI12 南東側埋土 | 第32図 PL.49-2 | 袋状鉄斧 | 46 | 14 | 14 | 16.8 | 刃部および基部の半分欠損 | 家塚09 |
| F15 | 東区 | SI12 P2埋土 | 第32図 PL.49-2 | 穿孔具 | 51 | 9 | 8 | 4.9 | 袋部をもつ | 家塚04 |
| F16 | 東区 | SI43 埋土 | 第49図 PL.49-2 | 第? | △28 | 9 | 3 | 2.9 | 鎬状の稜あり、両端欠損 | 家塚18 |
| F17 | 東区 | SI44 P1埋土 | 第50図 PL.49-2 | 板状鉄片 | 42 | 20 | 4 | 5.5 | | 家塚16 |
| F18 | 北区 | SI24 床面 | 第71図 PL.49-2 | 鐘? | ∆27 | 11 | 6 | 8.3 | 二つ折れ、端部欠損 | 家塚01 |
| F19 | 北区 | SI24 床面付近 | 第71図 PL.49-2 | 鉇? | ∆34 | 17 | 2 | 13.0 | 二つ折れ | 家塚08 |
| F20 | 南区 | SI35 床面 | 第82図 PL.49-2 | 袋状鉄斧 | △48 | 19 | 12 | 16.6 | 基部は折り返し、刃部欠損 | 家塚02 |
| F21 | 南区 | SI40 埋土 | 第89図 PL.49-2 | 板状鉄片 | 41 | 17 | 4 | 10.0 | | 家塚15 |
| F22 | 東区 | H6 撹乱 | 第102図 PL.49-2 | 銫 | △43 | 13 | 3 | 5.4 | 刃部に鎬、裏すきあり、基部欠損 | 家塚10 |
| F23 | 東区 | H6 撹乱 | 第102図 PL.49-2 | 棒状鉄片 | ∆37 | 5 | 3 | 3.9 | 斯面方形 | 家塚11 |
| F24 | 東区 | E5 表土 | 第102図 PL.49-2 | 棒状鉄片 | 43 | 9 | 4 | 4,7 | 一括取り上げ | 家塚06 |
| F25 | 東区 | B6 撹乱 | 第102図 PL.49-2 | 釘 | 21 | 3 | 2 | 1.2 | 一括取り上げ | 家塚24 |







2. 調査前状況(北から)

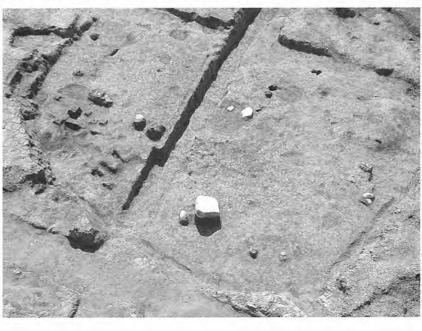
PL.2 三林遺跡 (東区)



1. SI 1・14 完掘状況 (南東から)



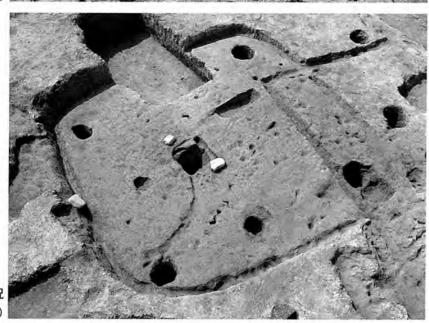
 SI2(新)完掘状況 (北西から)



3. SI 2 (新) 遺物出土状況 (東から)



1. SI2(旧) 完掘状況 (北から)



2. SI3完掘状況 (北東から)



3. SI9完掘状況

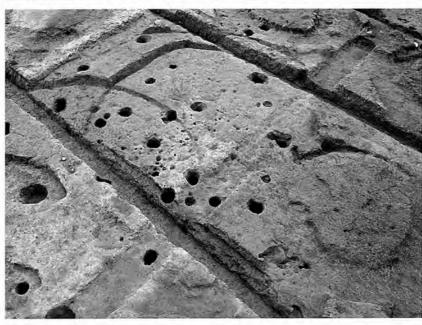
PL.4 三林遺跡 (東区)



1. SI4完掘状況 (北東から)



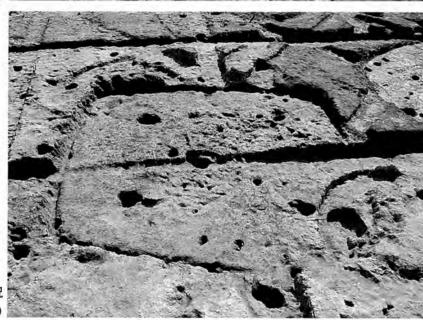
2. SI5完掘状況 (北西から)



3. SI13・19 完掘状況 (北西から)



1. SI 6完掘状況 (北東から)



2. SI7完掘状況 (北東から)

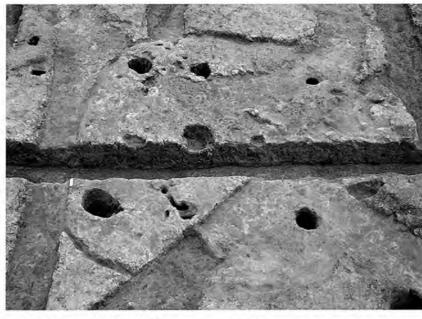


3. SI7遺物出土状況 (南西から)

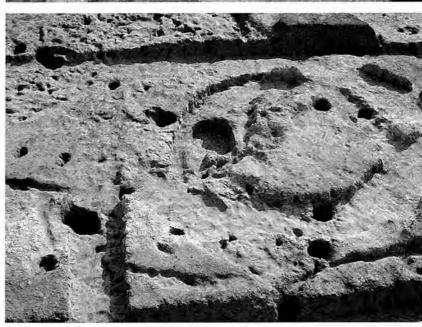
PL.6 三林遺跡 (東区)



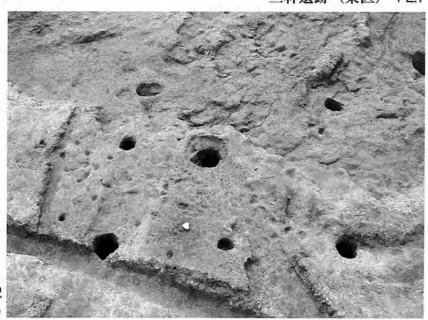
1. SI8完掘状況 (北西から)



2. SI15 完掘状況 (北から)



3. SI16 完掘状況 (北東から)



1. SI17 完掘状況 (北から)

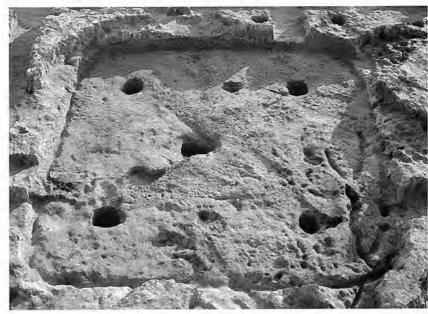


2. SI18 完掘状況 (北から)

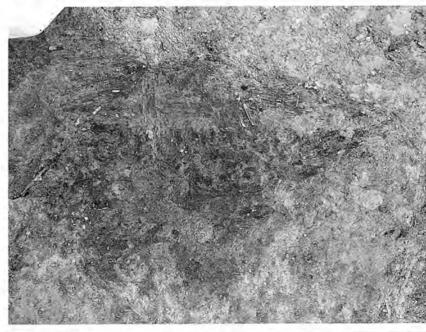


3. SI27 完掘状況 (北から)

PL.8 三林遺跡 (東区)



1. SI10 完掘状況 (北から)



2. SI10 炭化編物出土状況 (北から)



3. SI10 土器 44・46 出土状況 (南東から)



1. SI22 完掘状況 (北から)



2. SI22 土器 84 出土状況 (南西から)



3. SI12・21 完掘状況 (北西から)

PL.10 三林遺跡(東区)



1. SI11・20 完掘状況 (北から)



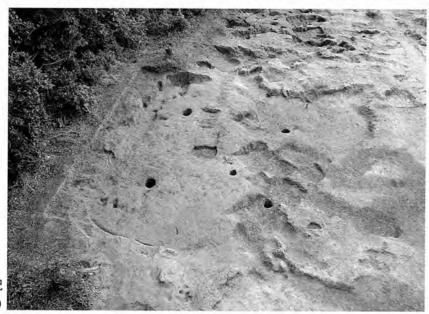
2. SI41 完掘状況 (北西から)



3. SI41 土器 98・99・100 出土状況 (北から)



1. SI28 完掘状況 (北西から)



2. SI29 完掘状況 (北から)

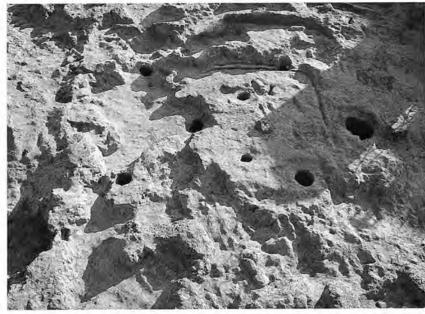


3. Sl30 完掘状況 (北から)

PL.12 三林遺跡(東区)



1. SI44 完掘状況 (北から)



2. SI43・46 完掘状況 (北から)



3. SI45 完掘状況 (北から)



1. SB1完掘状況 (北東から)



2. SB4完掘状況 (北から)



3. SB2完掘状況 (北東から)

PL.14 三林遺跡(東区)



1. SK1完掘状況 (南東から)



2. SK2完掘状況(北西から)



3. SK3完掘状況 (東から)



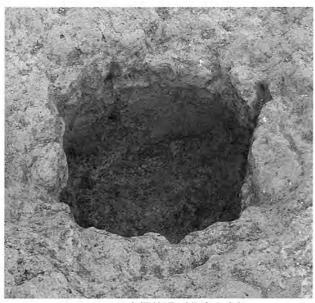
4. SK4完掘状況(北西から)



5. SK9 完掘状況 (東から)



6. SK15完掘状況 (東から)



1. SK16完掘状況(北東から)



2. SK19完掘状況(北から)



3. SK17完掘状況(北東から)

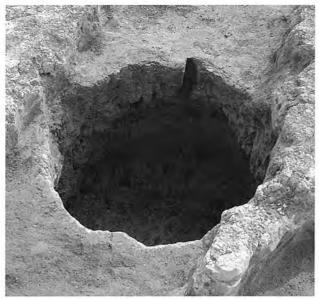


4. SK18完掘状況(北東から)



5. SK11完掘状況 (北から)

PL.16 三林遺跡(東区)



1. SK20完掘状況(北西から)



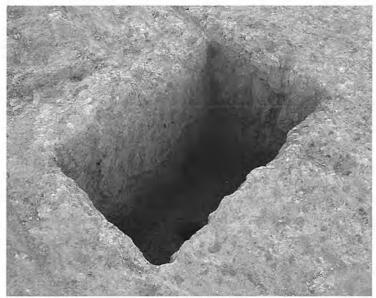
2. SK21完掘状況(北西から)



3. SK23完掘状況(北東から)



4. SK24完掘状況 (西から)



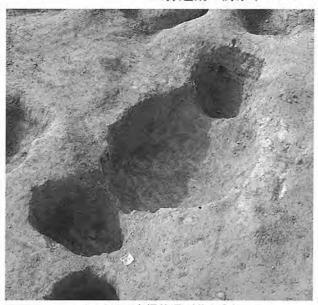
5. SK26完掘状況 (東から)



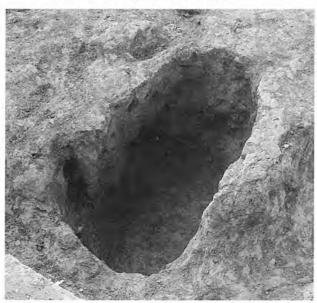
6. SK32完掘状況(北東から)



1. SK30完掘状況(北から)



2. SK31完掘状況 (北から)



3. SK33完掘状況(北から)



4. SK34完掘状況(北西から)



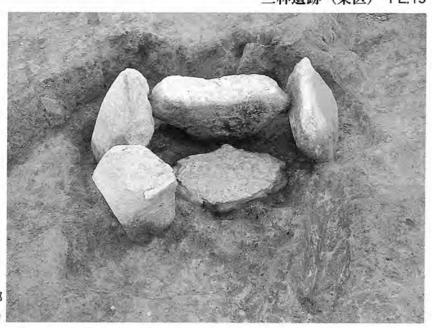
5. SK29 遺物出土状況 (東から)

PL.18 三林遺跡(東区)

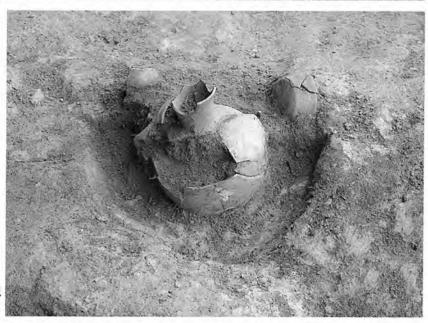


1. SX1·2 検出状況 (西から)





 SX1石槨 (北から)

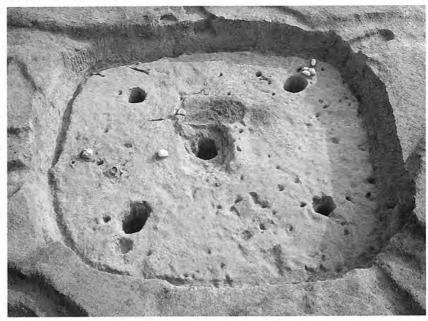


2. SX2埋土半裁状況 (北東から)



3. SX2掘方 (東から)

PL.20 三林遺跡(北区)



1. SI24 完掘状況 (北から)



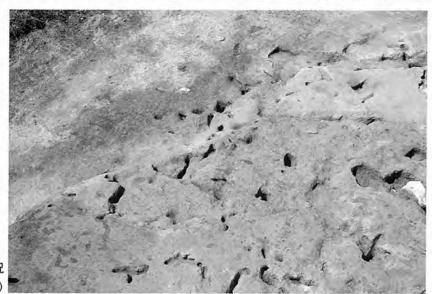
2. SI24 炉検出状況 (南西から)



3. SI24 炉内の炭除去後 (南東から)



1. SI23完掘状況 (北から)



2. Sl26 完掘状況 (北から)

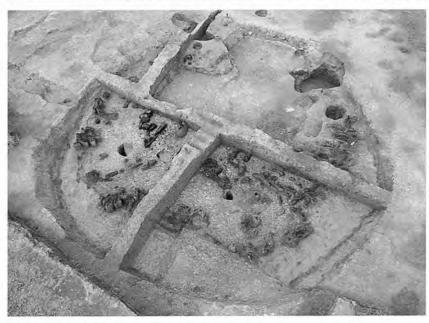


3. 北区東半完掘状況 (南東から)

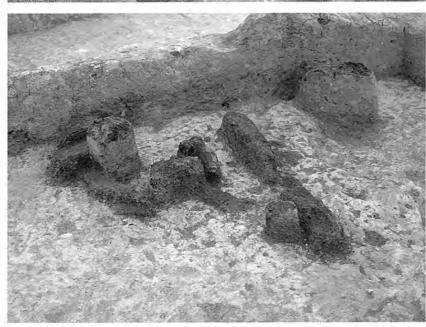
PL.22 三林遺跡(南区)



1. SI31 完掘状況 (南東から)



2. Sl31 炭化材出土状況 (南東から)

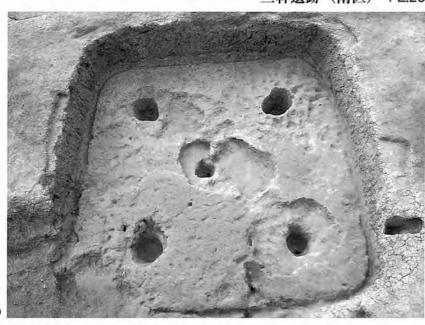


3. SI31 出土炭化材と土層断面 (南西から)

三林遺跡(南区) PL.23



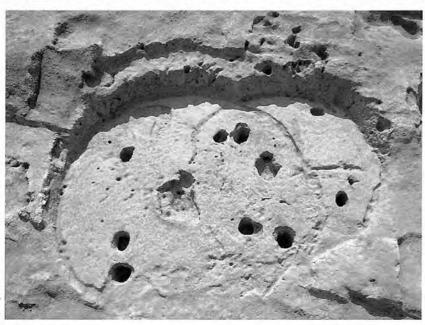
1. SI32 土器 138・144・145 出土状況(北から)



2. Sl32 完掘状況(北から)

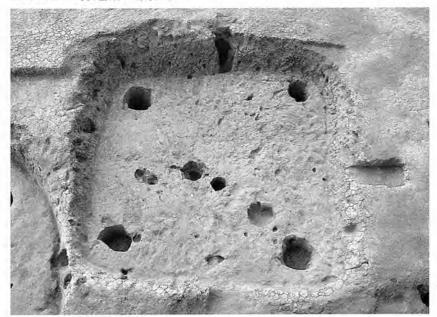


3. Sl34 完掘状況 (東から)



4. Sl35・47 完掘状況 (北から)

PL.24 三林遺跡(南区)



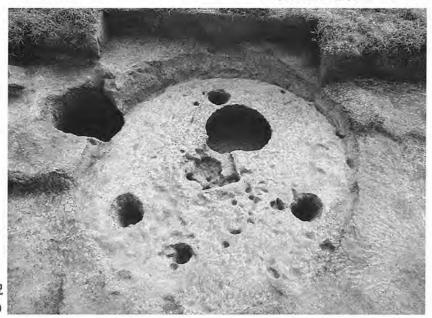
1. Sl33 完掘状況 (北から)



 SI33 炭化材出土状況(1) (北から)



3. Sl33 炭化材出土状況(2) (東から)



1. Sl36 完掘状況 (北から)

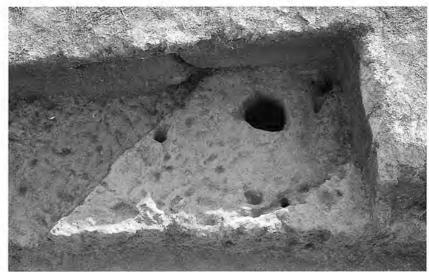


2. SI37 完掘状況 (北から)



3. SI38 完掘状況

PL.26 三林遺跡 (南区)



1. Sl25 完掘状況 (北から)



2. Sl39 完掘状況 (東から)



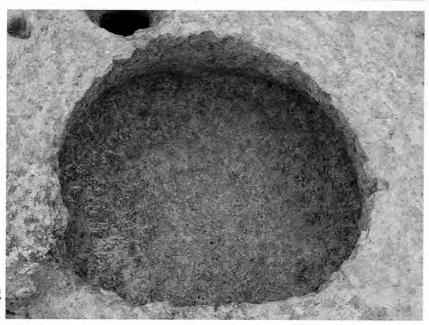
3. SI40 完掘状況 (北から)



1. SA1完掘状況 (南西から)



2. SA3完掘状況 (西から)

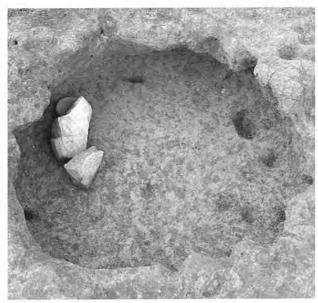


3. SK5完掘状況 (北から)

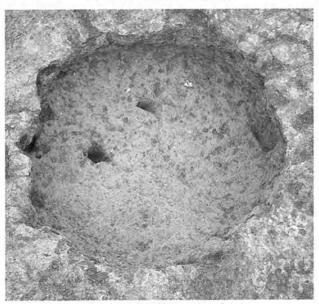
PL.28 三林遺跡(南区)



1. SK6完掘状況(南から)



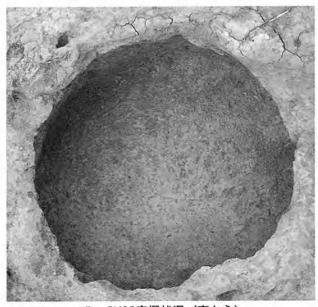
2. SK7完掘状況 (北から)



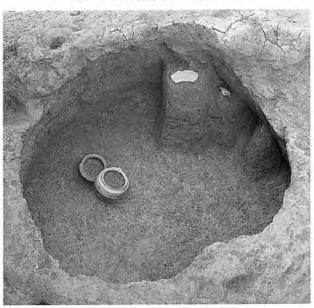
3. SK8完掘状況(南から)



4. SK10完掘状況(北西から)



5. SK22完掘状況 (東から)



6. SK22遺物出土状況 (東から)



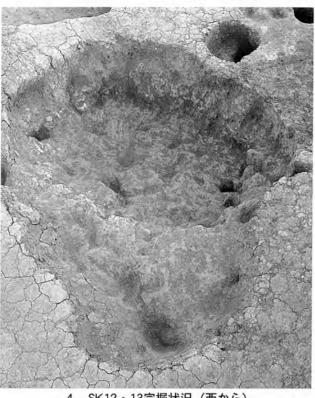
1. SK14完掘状況(南西から)



2. SK25完掘状況(南から)



3. SK28完掘状況(北から)

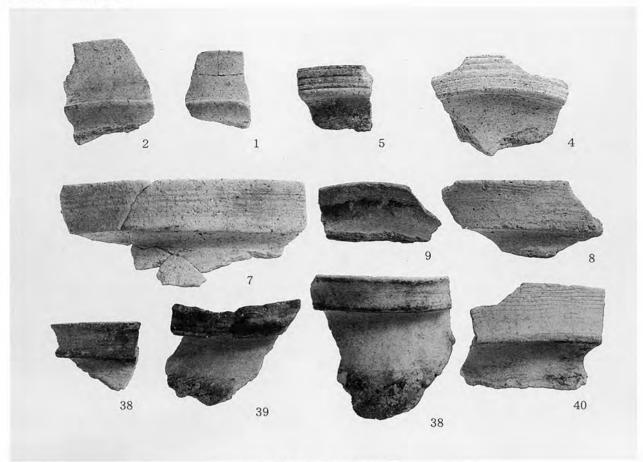


4. SK12・13完掘状況 (西から)

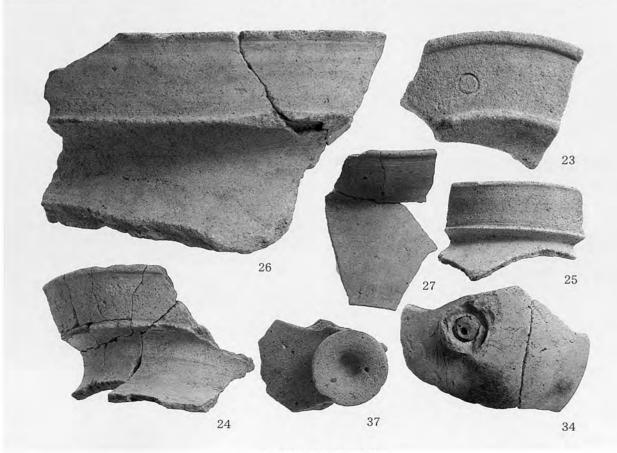


5. SK27完掘状況(北から)

PL.30 三林遺跡

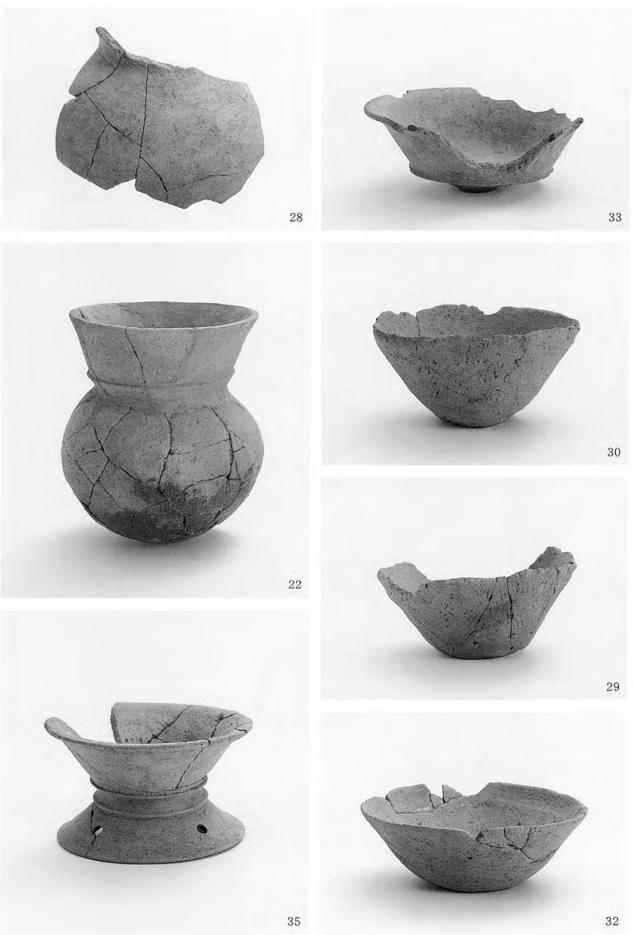


1. SI1·2·3·8出土土器

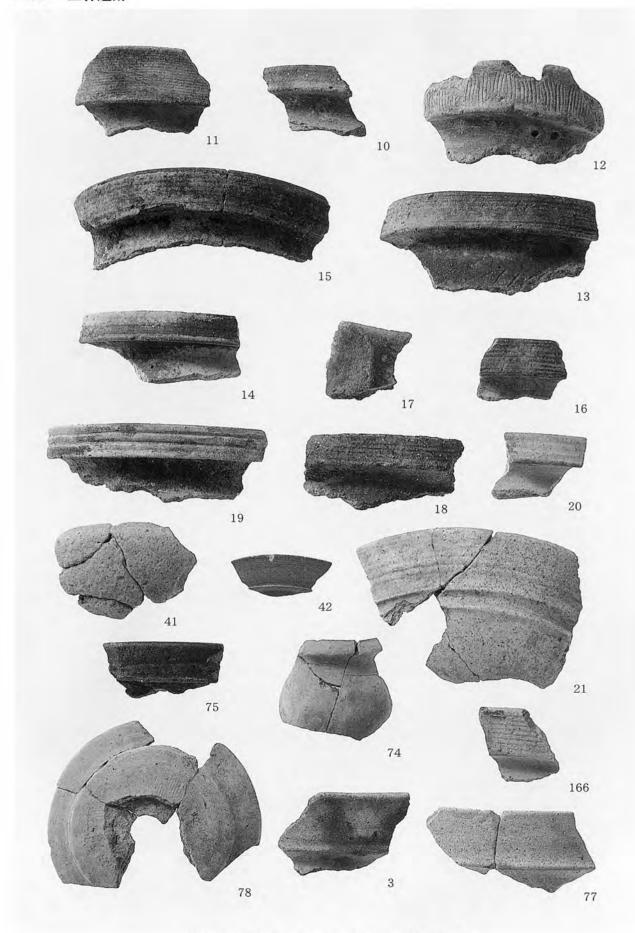


2. SI7出土土器 (1)

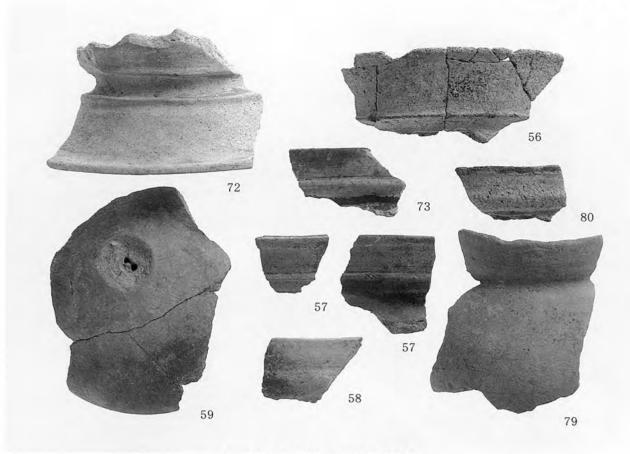
三林遺跡 PL.31



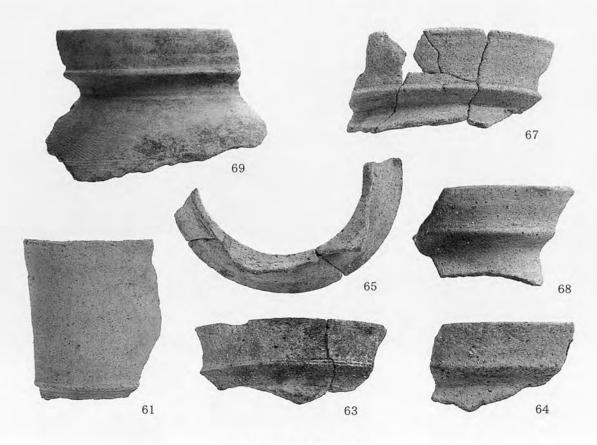
SI7出土土器 (2)



SI4·5·6·9·13·14·15·18·19·25出土土器



1. SI11 · 12 · 20 · 21 · 22出土土器



2. SI12出土土器 (1)

PL.34 三林遺跡





SI12出土土器 (2)



SI10出土土器 (1)

PL.36 三林遺跡









SI10出土土器 (2)

三林遺跡 PL.37



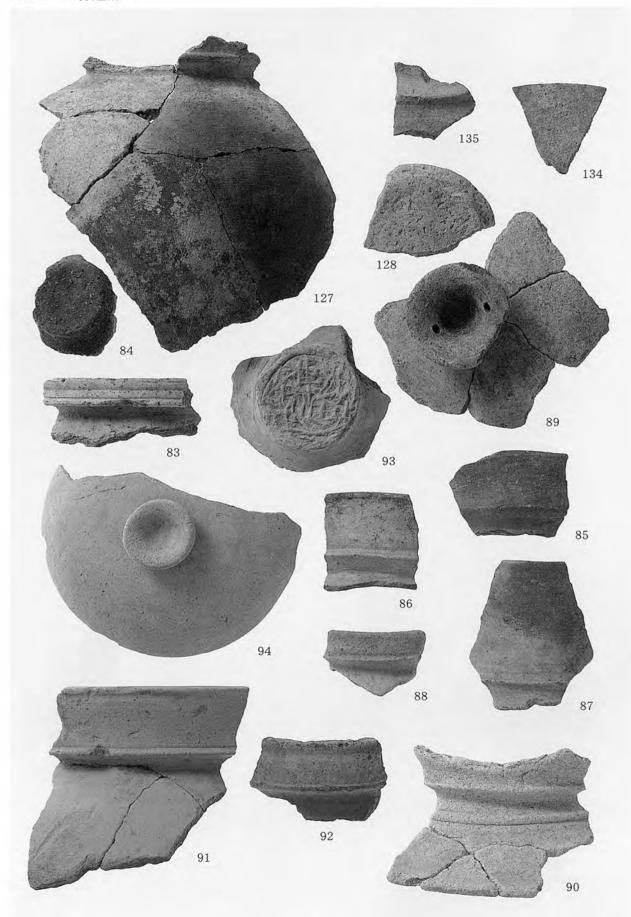








SI24出土土器



SI23 · 26 · 27 · 28 · 29出土土器















SI32出土土器 (1)

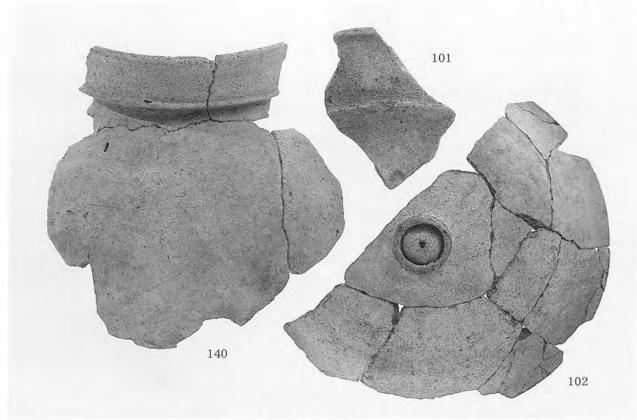
141

PL.40 三林遺跡





SI32出土土器 (2)



1. SI32·43出土土器



2. SI33出土土器

PL.42 三林遺跡





100



SI41出土土器



76

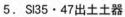


156





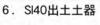
2. SI22出土土器

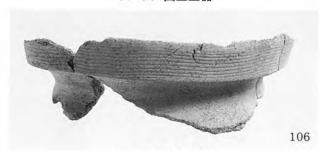


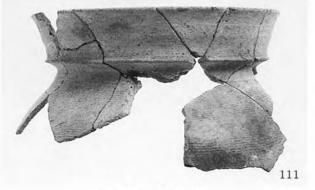




3. SI31出土土器

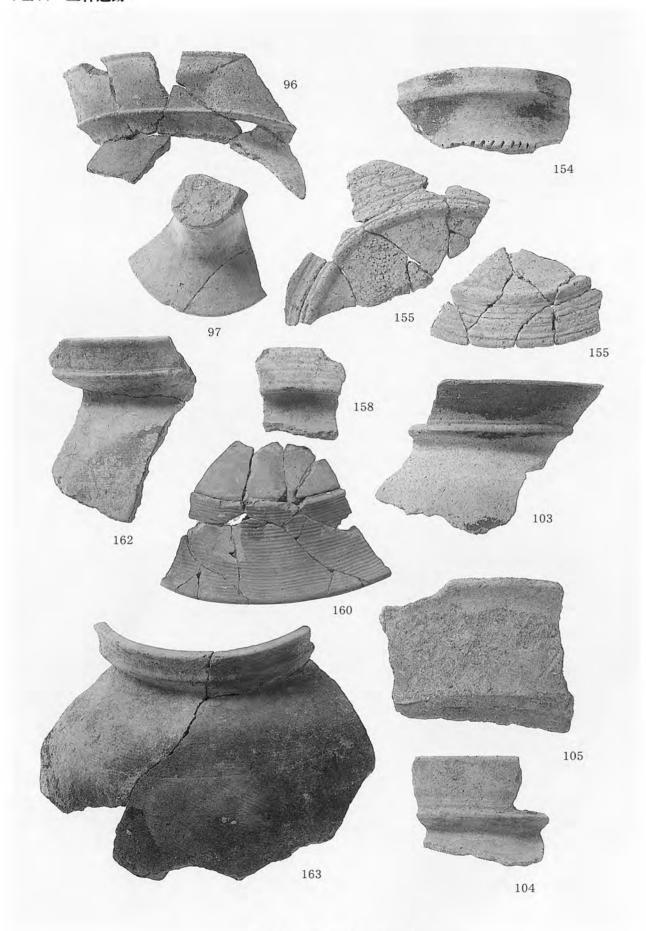




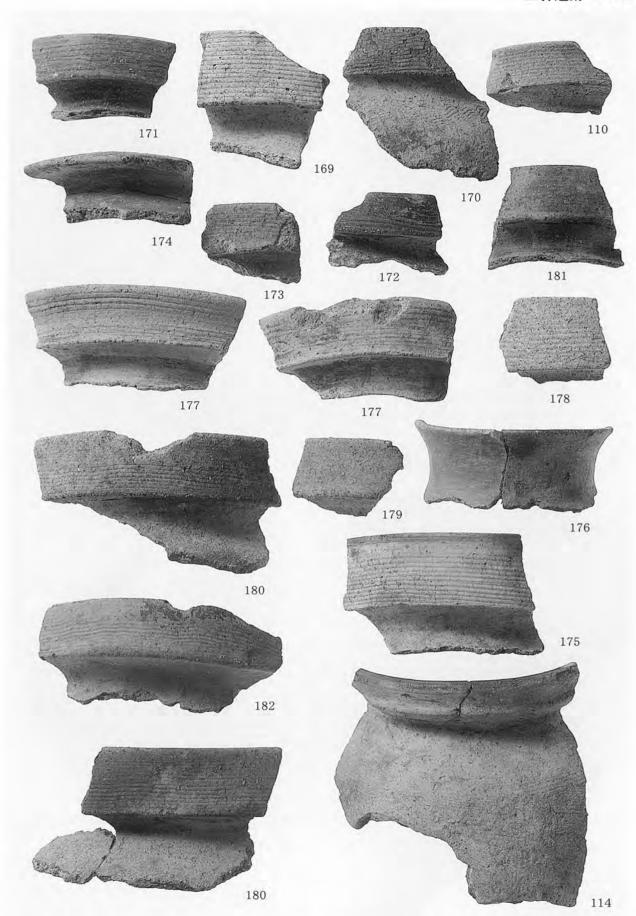


4. SI45出土土器

7. SK29出土土器

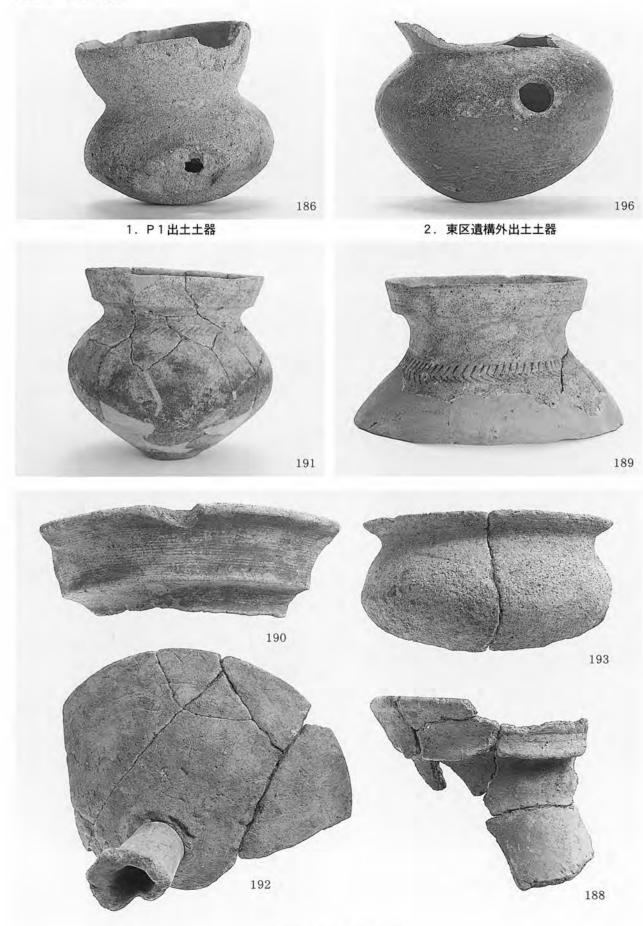


SI30・34・35・39・44出土土器



SK1·5·6·7·8·10·13·14·22·31出土土器

PL.46 三林遺跡

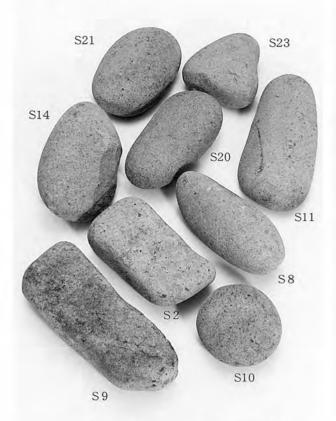


3. 南区包含層出土土器

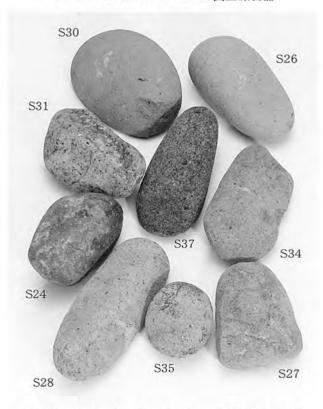


SX1·2 出土土器

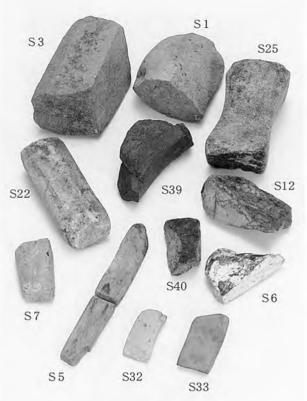
PL.48 三林遺跡



1. SI1 · 4 · 5 · 7 · 8 · 12 · 17出土礫石器



2. SI22·24·28·32·33·41·SK31出土礫石器



3. 砥石

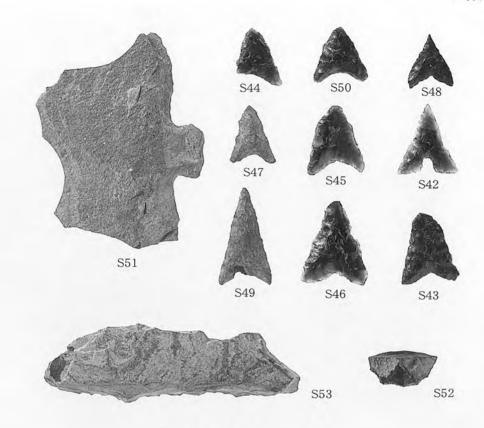


4. 南区包含層出土石斧

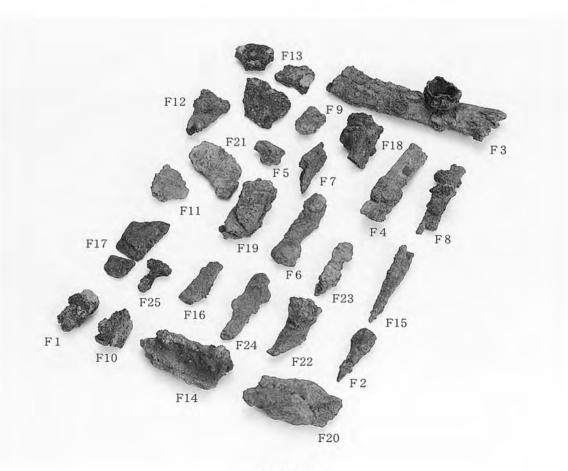


S19

S41



1. 石匙・石鏃・スクレイパー



2. 鉄製品

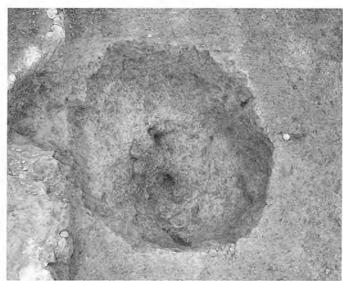
PL.50 井図地頭遺跡



1. SI2と方形区画(北西から)



井図地頭遺跡 PL.51



1. SK36完掘状況(北から)



3. SK38完掘状況(北から)



2. SK36遺物出土状況(南から)



4. SK37・39完掘状況(南西から)



5. SK40完掘状況 (西から)



6. SD14完掘状況(北東から)

PL.52 井図地頭遺跡

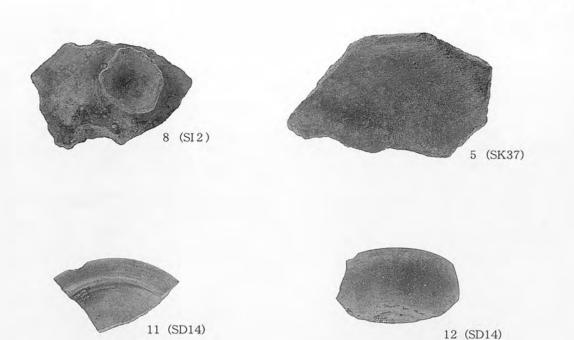


1. SI2 完掘状況(北から)

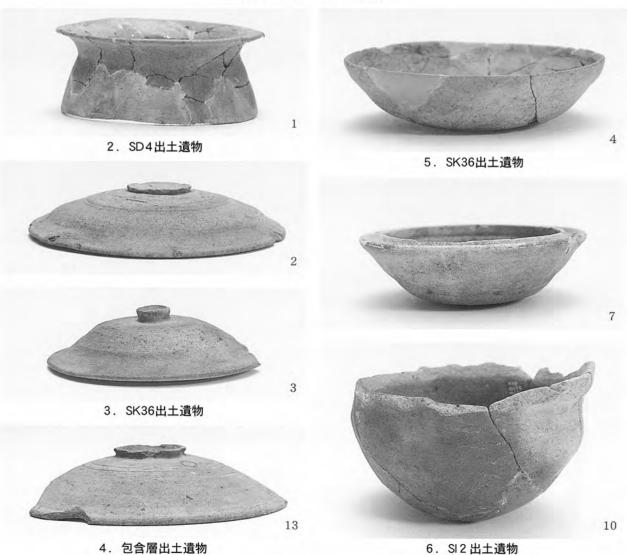


2. SI2 貼床除去後完掘状況(北から)

井図地頭遺跡 PL.53

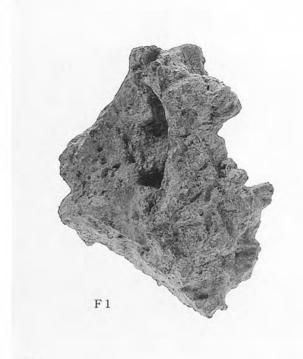


1. SI2·SK37·SD14出土遺物



6. SI2 出土遺物

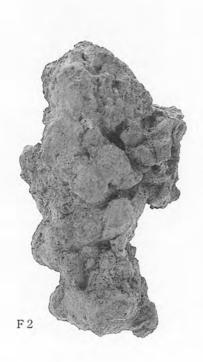
PL.54 井図地頭遺跡





(表)





(裏)

SI2出土鉄滓

報告書抄録

| ふりがな | さんばやしいせき いずちがしらいせき | | | | | | | |
|---------------------|---|-------|-----------------------|-------------------|---------------------------|---------------------------|---------|------------------------------|
| 書名 | 三林遺跡・井図地頭遺跡 | | | | | | | |
| 副書名 | 一般国道 9 号(東伯中山道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 刊次 | N | | | | | | | |
| シリーズ名 | 鳥取県教育文化財団調査報告書 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 88 | | | | | | | |
| 編集者名 | 家塚英詞、小谷郁夫、君嶋俊行、田村昭夫、鈴木恵介、水村直人 | | | | | | | |
| 編集機関 | 財団法人 鳥取県教育文化財団 埋蔵文化財センター | | | | | | | |
| 所在地 | 680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1260 TEL (0857) 27-6717 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦2004年3月31日 | | | | | | | |
| ふりがな | ふりがな | ٦- | - ド | 北緯 | 東経 | ÷n ★ ₩ 88 | 一一十二年 | =m * |
| 所収遺跡 | 所在地 | 市町村 | 遺跡番号 | 0 / // | 0 / // | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| editationes 三林遺跡 | とっとりけんとうはくぐん 鳥取県東伯郡 とうはくちょうおおあぎたこえ 東伯町大字田越 まざしんみつはやし 字新三林145ほか | 31368 | 221 | 35° 29′ 11″ | 133° 40′ 52″ | 20030501 ~ 20031111 | 8,408m² | 一般国道9号 (東伯中山道路) 改築工事 |
| いずきがしらいせき 井図地頭遺跡 | とっとりけんとうはくくん 鳥取県東伯郡 とうはくちょうおおあざみは 東伯町大字三保 まざしもたきみれなる 字下滝峯平ルほか | 31368 | 222 | 35° 29′ 07″ | 133° 41′ 05″ | 20031014 ~ 20031113 | 288.8m² | 一般国道 9 号 (東伯中山道路) 改築工事 |
| 所収遺跡 | 種別 | 主な時代 | 主な道 | 遺構 | 主な遺物 | | | 特記事項 |
| 三林遺跡 | | 先土器 | スクレイパー | | | | | |
| | | 縄文 | 落とし穴 | 21 | 石器 | | | |
| | 集落 | 弥生 | 竪穴住居跡20掘立柱建物跡1貯蔵穴11柵2 | | 弥生土器 石器、鉄器 | | | 焼失住居 |
| | | 古墳 | 竪穴住居跡27掘立柱建物跡1土坑2 | | 土師器、須恵器 石器、鉄器 滑石製臼玉 | | | 焼失住居 竪穴住居の壁材 |
| | | 時期不明 | 掘立柱建物跡3柵2 | | - | | | |
| | 墓 | 平安 | 火葬墓 | | | | | 蔵骨器 |
| 井図地頭遺跡 | 集落 | 古墳 | 竪穴住居跡 | | | | | |
| | | 7~8世紀 | 土坑 溝 | 5 2 | 土師器、 鉄滓 | 須恵器 | | |

鳥取県教育文化財団調査報告書 88

一般国道 9 号(東伯中山道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書IV 鳥取県東伯郡東伯町

三 林 遺 跡 井図地頭遺跡

発 行 2004年3月31日

編 集 財団法人 鳥取県教育文化財団

埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1260

電話 (0857) 27-6717

発行者 財団法人 鳥取県教育文化財団

印 刷 株式会社 鳥取平版社